

## 1 調査目的

- ・刈谷市の都市づくりのあり方について、広く市民の意見を得る。
- ・総合計画で示す施策の進捗状況を把握して、今後の総合計画の進行管理や行政評価のための参考となる資料を得る。

## 2 調査方法等

- ・調査地域 刈谷市全域
- ・調査対象 市内在住の20歳以上の男女
- ・標本数 2,000人
- ・抽出方法 無作為抽出法
- ・調査方法 郵送配布、郵送回収
- ・調査時期 平成16年12月

## 3 回収結果

標本数	有効回答数	回収率
2,000	1,231	61.6%

## 4 調査項目

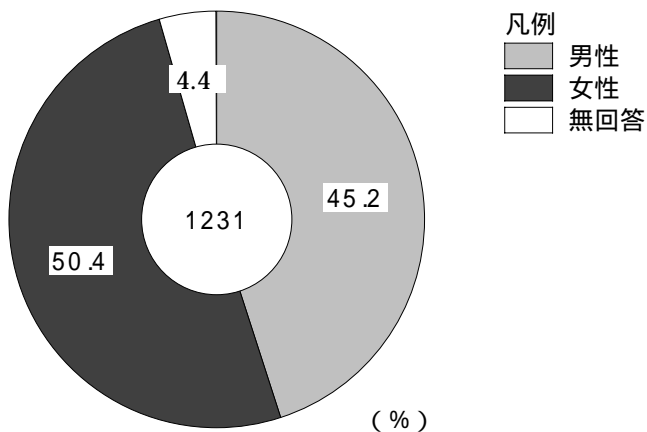
- 1 回答者のプロフィール
- 2 刈谷市の住みやすさ
- 3 現状に対する満足度と今後の重要性
- 4 住宅・周辺環境について
- 5 刈谷駅周辺について
- 6 環境について
- 7 防災・災害対策について
- 8 生涯学習・ボランティアについて
- 9 健康・スポーツについて
- 10 情報化について
- 11 男女平等の意識について

## 5 報告書の見方

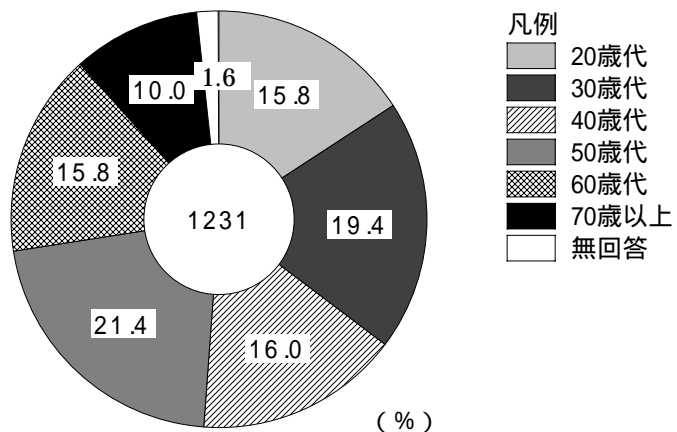
- ・グラフにおける比率はすべて%（パーセント）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。したがって、各項目の構成比の合計は必ずしも100.0%にならない。
- ・複数回答が可能な設問では、構成比算出の母数は回答者数（票数）とし、その項目を選んだ人が全体から見て何%なのかという見方をした。そのため、各項目の比率を合計すると100%以上になる。
- ・グラフにおける選択肢や凡例の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載されている場合がある。

# 1 回答者のプロフィール

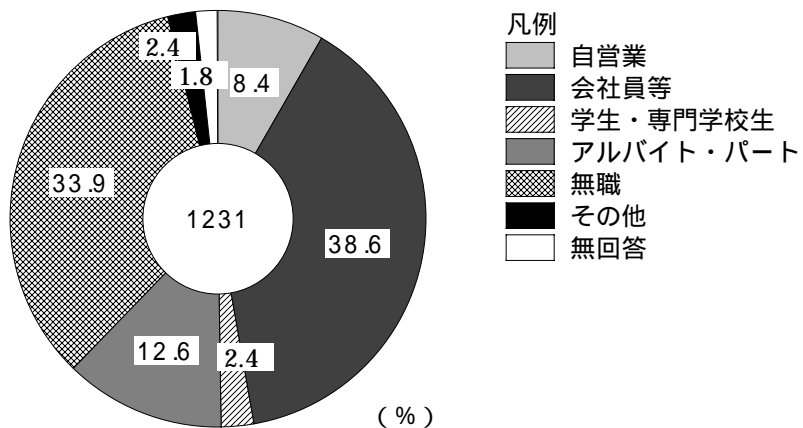
(1) 性別



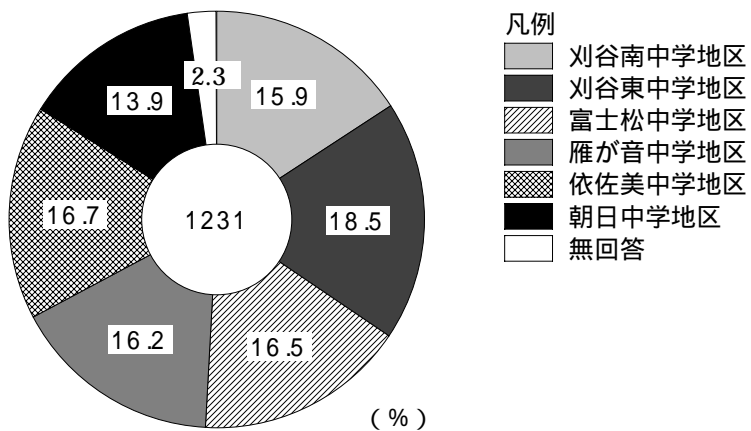
(2) 年齢



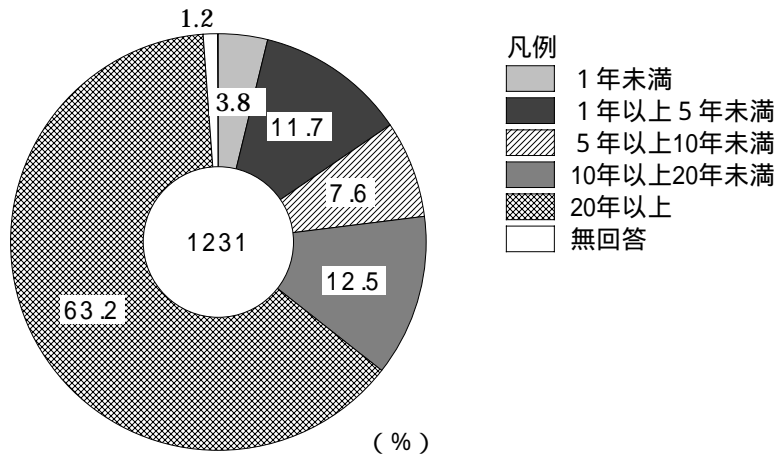
(3) 職業



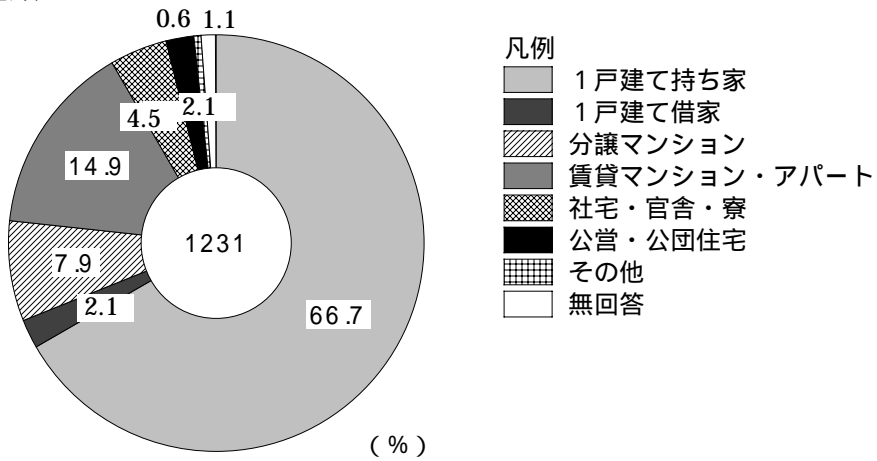
(4) 居住地区



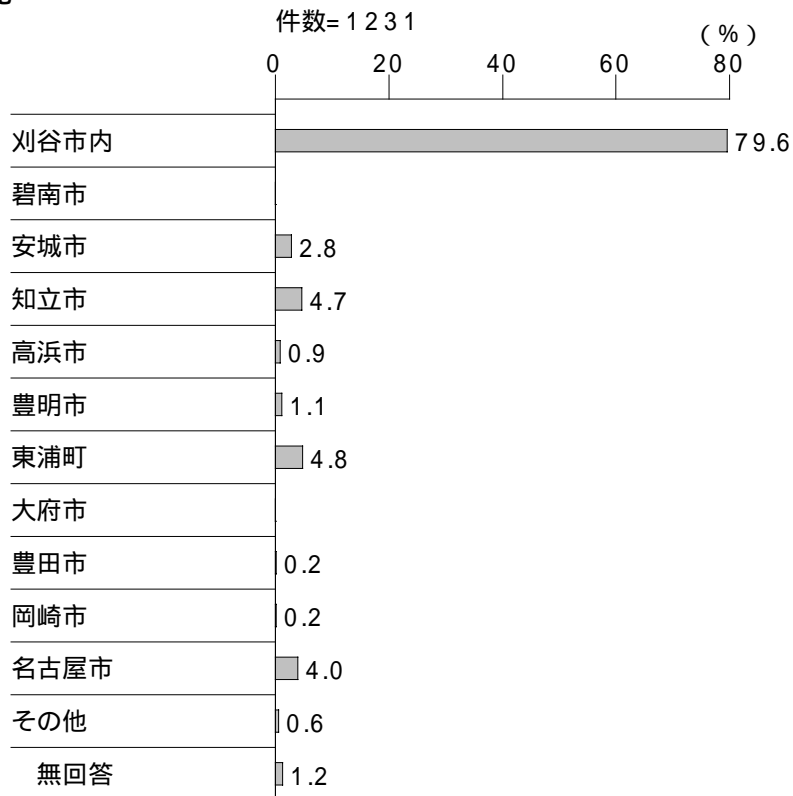
(5) 居住年数



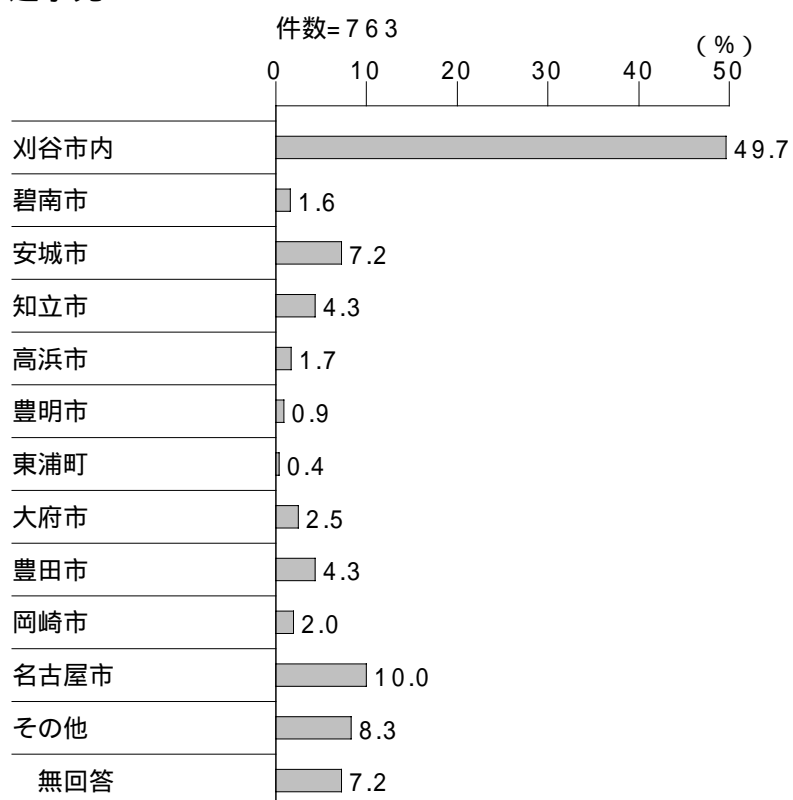
(6) 住宅の種類



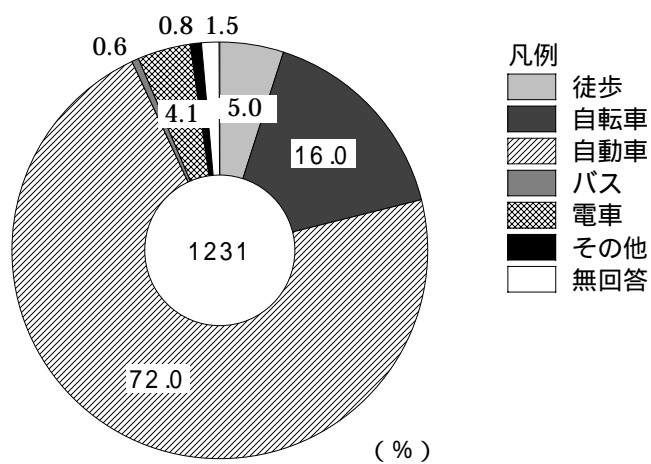
(7) 買い物先



( 8 ) 勤務地・通学先



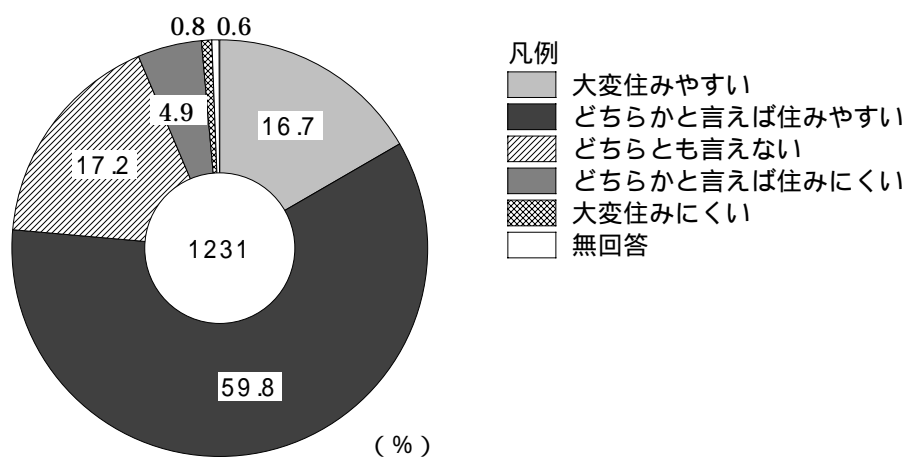
( 9 ) 日常の主な移動手段



## 2 刈谷市の住みやすさ

### (1) 住みやすさの評価

問2．総合的に見て、刈谷市は住み良いところだと感じますか。次のうちから近いもの1つだけ選んで、をつけてください。



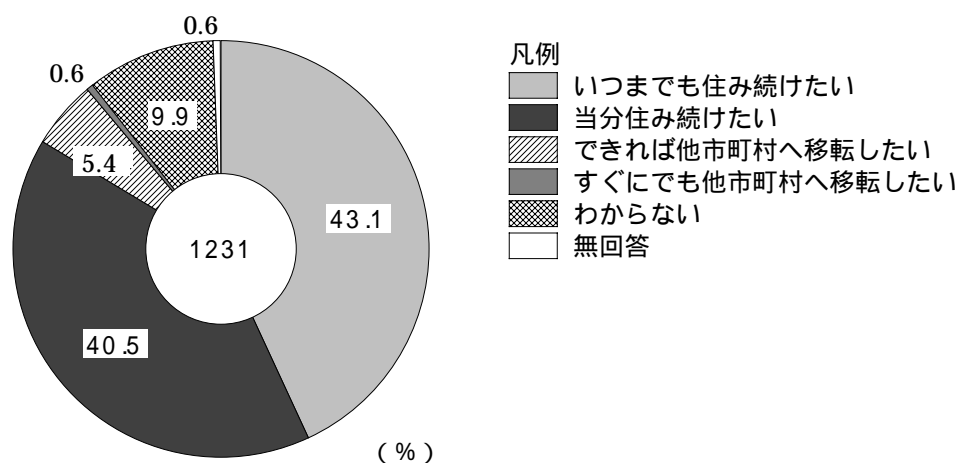
・「どちらかと言えば住みやすい」が 59.8%、「大変住みやすい」が 16.7%であり、合計 76.5%が『住みやすい』と評価している。「どちらかと言えば住みにくい」は 4.9%、「大変住みにくい」は 0.8%となっている。

#### 住みやすさ

	16年度	14年度	12年度	11年度
住みやすい	76.5%	73.9%	67.9%	66.7%
どちらとも言えない	17.2%	19.6%	20.4%	9.1%
住みにくい	5.7%	5.6%	8.1%	19.9%

( 2 ) これからの居留意向

問3 . これからも刈谷市に住み続けたいと思いますか。次のうちからあてはまるもの1つだけ選んで、をつけてください。



・「いつまでも住み続けたい」が 43.1%、「当分住み続けたい」が 40.5%であり、合計 83.6%が『住み続けたい』と答えている。

居留意向

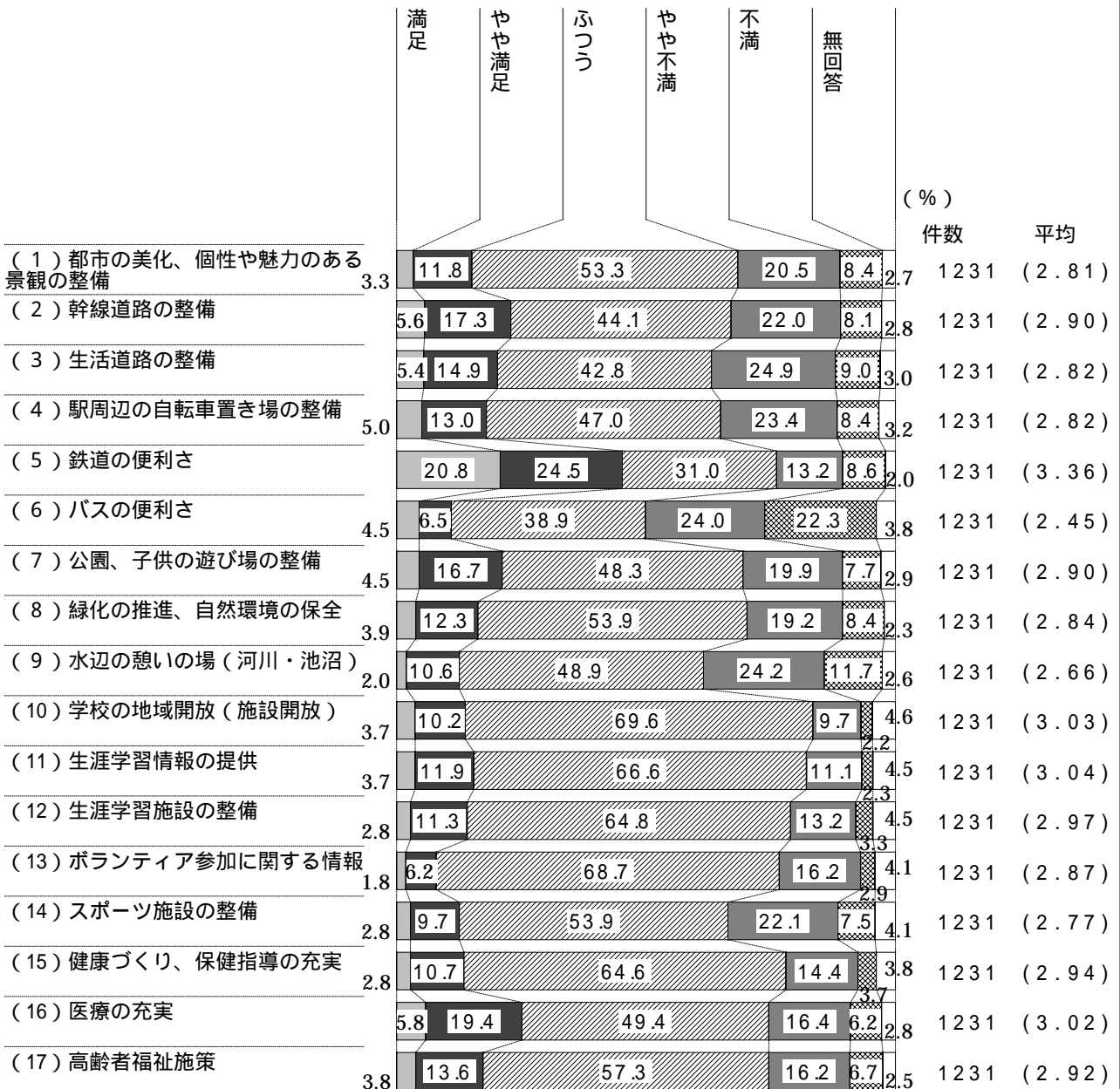
	16年度	14年度	12年度	11年度
住みつづけたい	83.6%	81.4%	76.1%	75.9%
移転したい	6.0%	6.6%	9.3%	17.4%

### 3 現状に対する満足度と今後の重要性

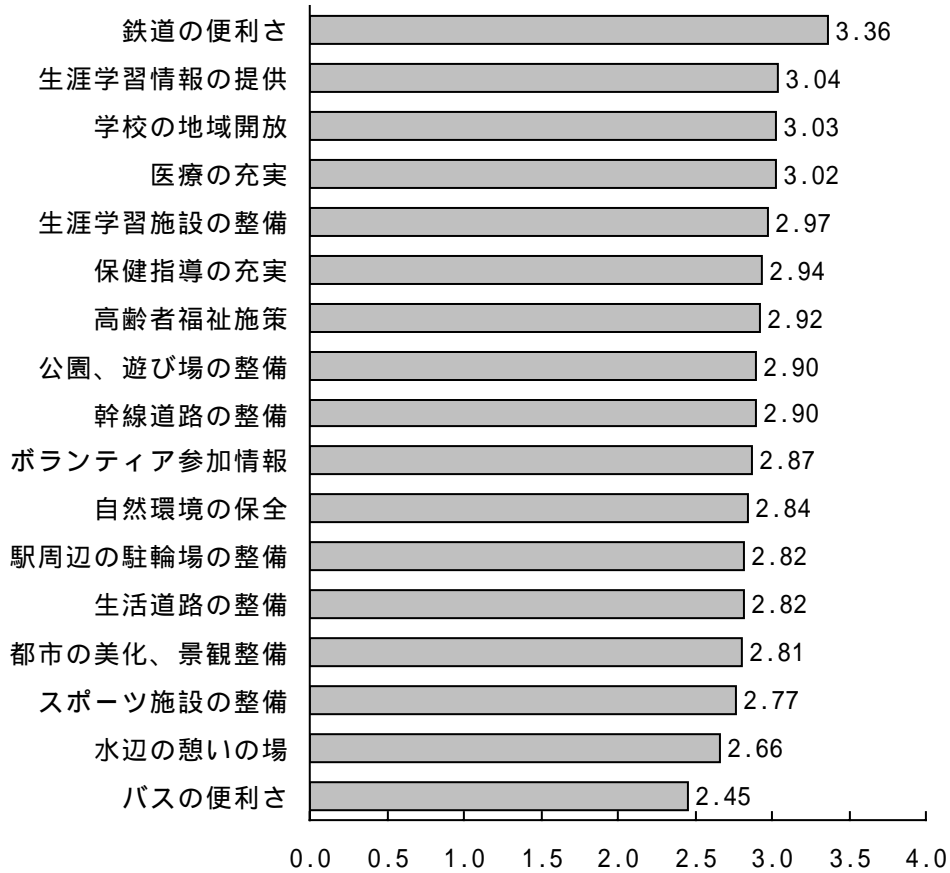
#### (1) 市政に対する現在の評価と今後の重要性

問4. 刈谷市の現状に対し、あなたのお気持ちに最も近いものを(1)～(17)までの項目について、**満足度、重要度**でそれぞれ**1つずつ**選んで、をつけてください。

#### < 満足度 >



< 満足度の平均ポイント >



・「満足」を5点、「やや満足」を4点、「ふつう」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点として計算し、満足度の平均ポイントを算出した。平均ポイントは5に近いほど満足であることを、1に近いほど不満であることを示し、各施策について全体の平均的な満足度を示す重要な指標である。

・満足度の平均ポイントの上位5項目は、以下のようになっている。

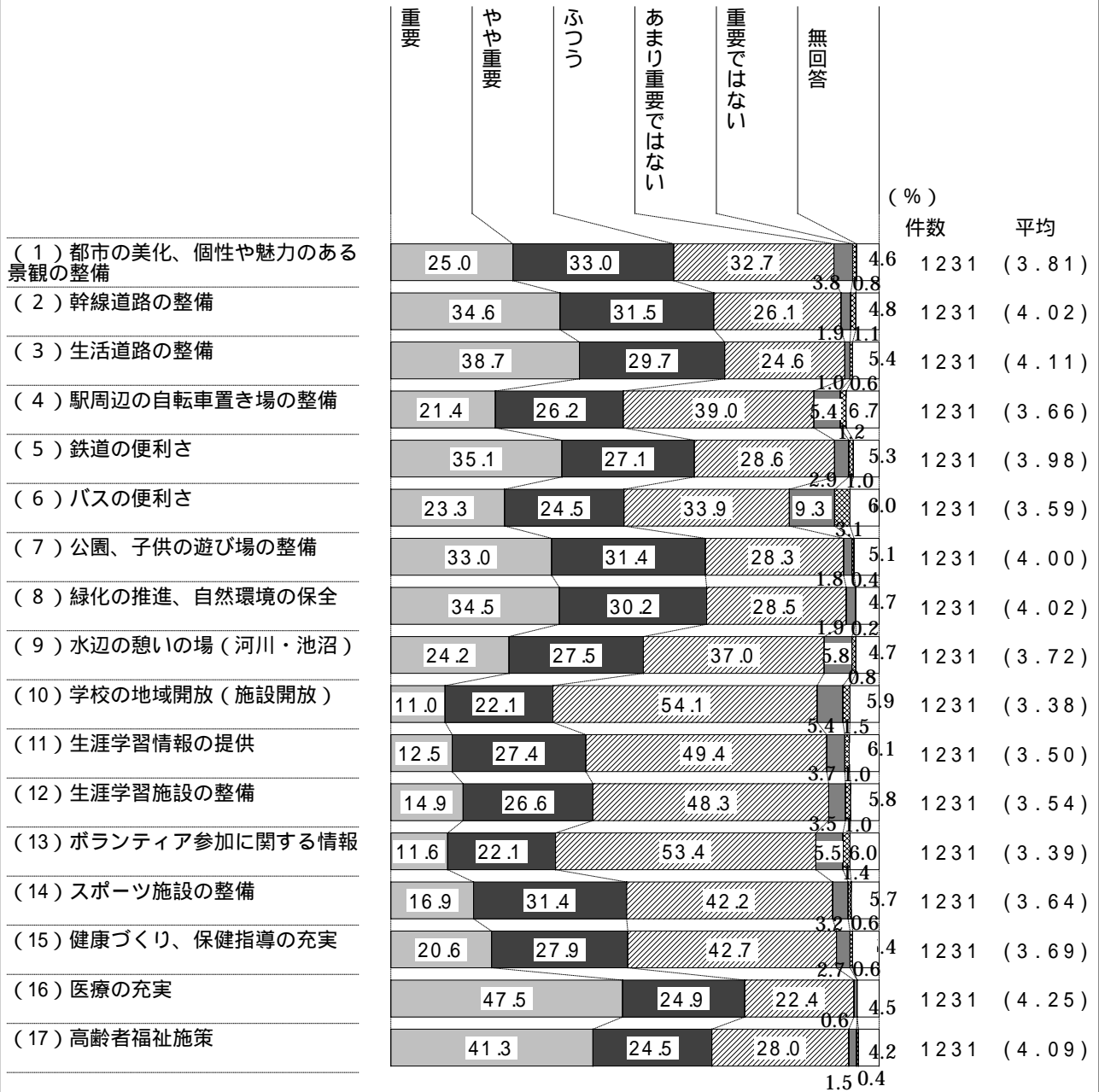
- 1：鉄道の便利さ・・・・・・・・・・・・・・・・ 3.36
- 2：生涯学習情報の提供・・・・・・・・・・・・ 3.04
- 3：学校の地域開放・・・・・・・・・・・・・・ 3.03
- 4：医療の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3.02
- 5：生涯学習施設の整備・・・・・・・・・・・・ 2.97



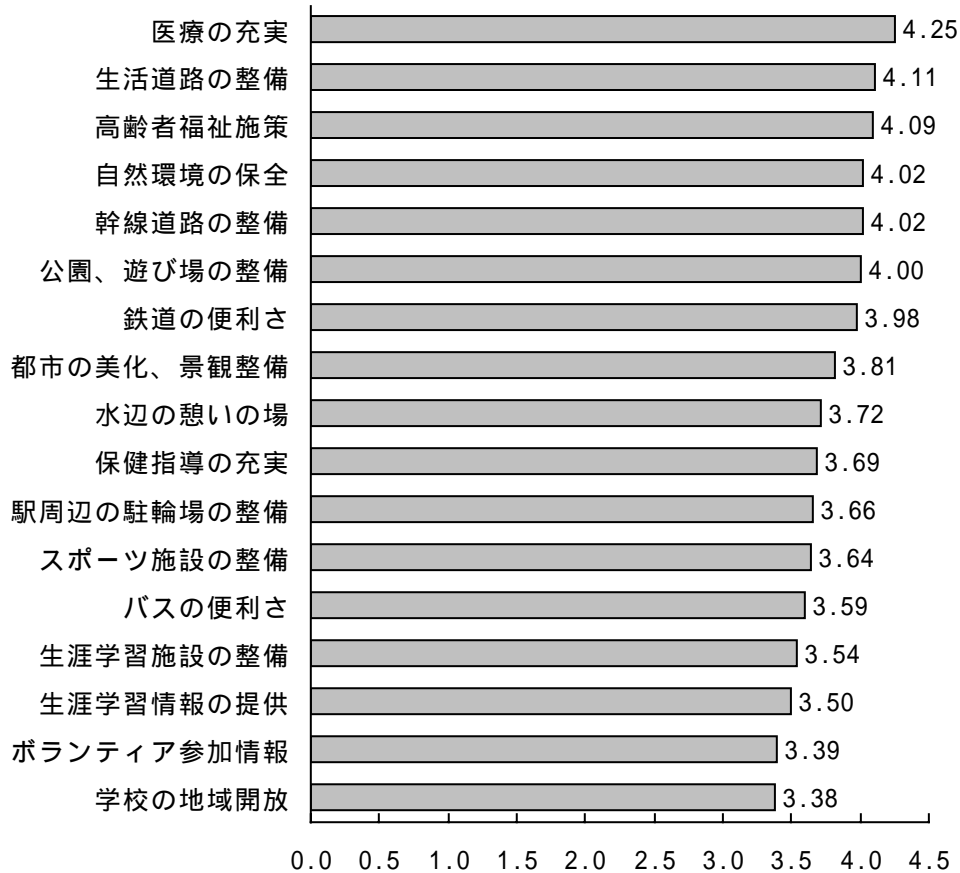
満足度（平均点数）

	平成16年度	平成14年度	平成12年度
都市の美化、個性や魅力ある景観	2.81	2.79	2.77
幹線道路の整備	2.90	2.92	2.63
生活道路の整備	2.82	2.79	2.58
駅周辺の自転車置き場の整備	2.82	2.76	2.78
鉄道の便利さ	3.36	3.32	3.22
バスの便利さ	2.45	2.15	2.48
公園、子供の遊び場の整備	2.90	2.80	2.73
緑化の推進、自然環境の保全	2.84	2.77	2.70
水辺の憩いの場（河川・池沼）	2.66	2.63	2.60
学校の地域開放（施設開放）	3.03	3.01	2.96
生涯学習情報の提供	3.04	3.00	2.85
生涯学習施設の整備	2.97	2.92	2.85
ボランティア参加に関する情報	2.87	2.83	2.76
スポーツ施設の整備	2.77	2.79	2.71
健康づくり、保健指導の充実	2.94	2.92	2.85
医療の充実	3.02	2.89	2.65
高齢者福祉施策	2.92	2.82	2.75

< 重要度 >



<重要度の平均ポイント>

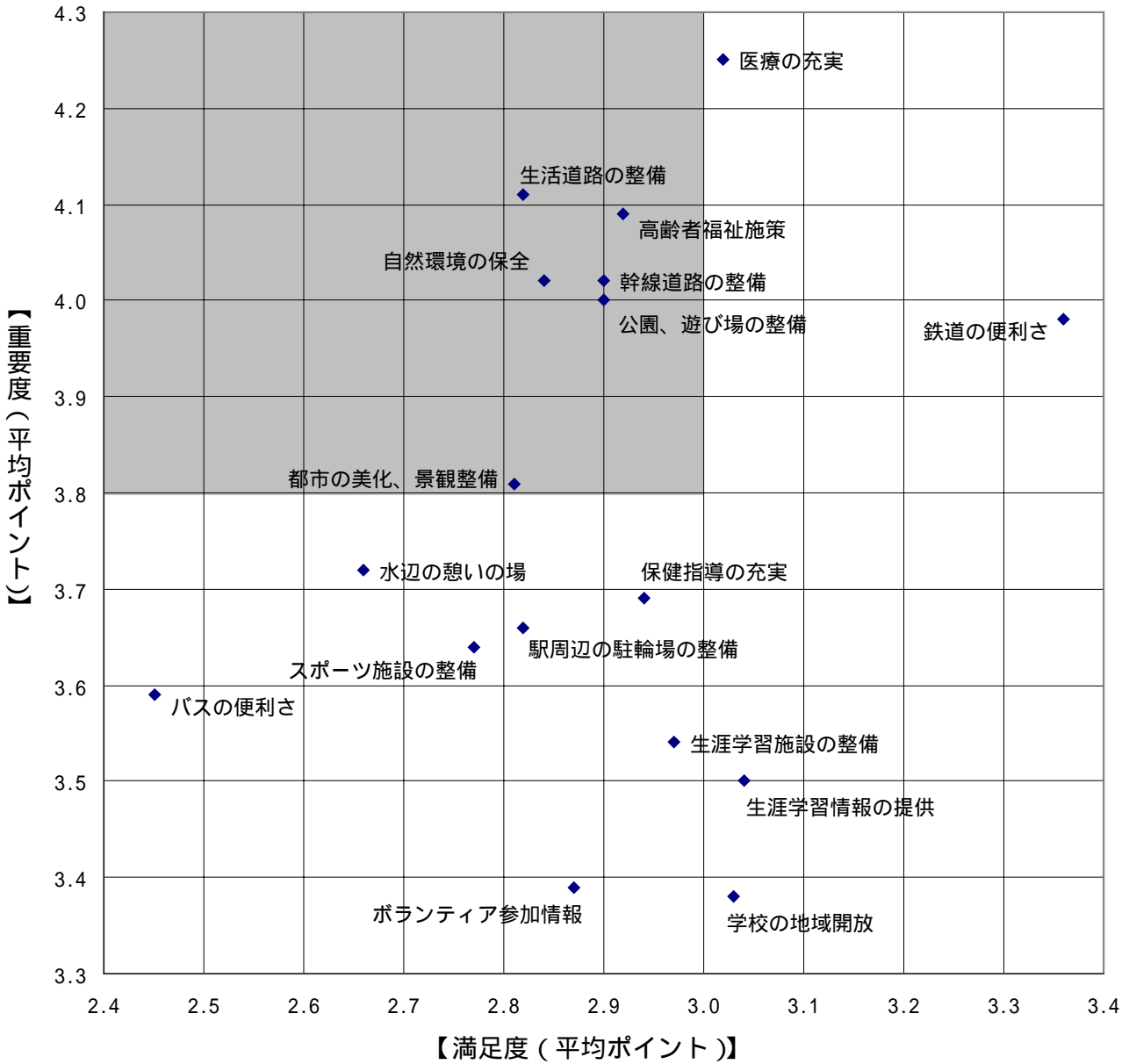


・重要度についても満足度と同様に、「重要」を5点、「やや重要」を4点、「ふつう」を3点、「あまり重要ではない」を2点、「重要ではない」を1点として計算し、重要度の平均ポイントを算出した。平均ポイントは5に近いほど重要であることを、1に近いほど重要ではないことを示している。

・重要度の平均ポイントの上位5項目は、以下のようになっている。

- 1：医療の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 4.25
- 2：生活道路の整備・・・・・・・・・・・・ 4.11
- 3：高齢者福祉施策・・・・・・・・・・・・ 4.09
- 4：自然環境の保全・・・・・・・・・・・・ 4.02
- 4：幹線道路の整備・・・・・・・・・・・・ 4.02

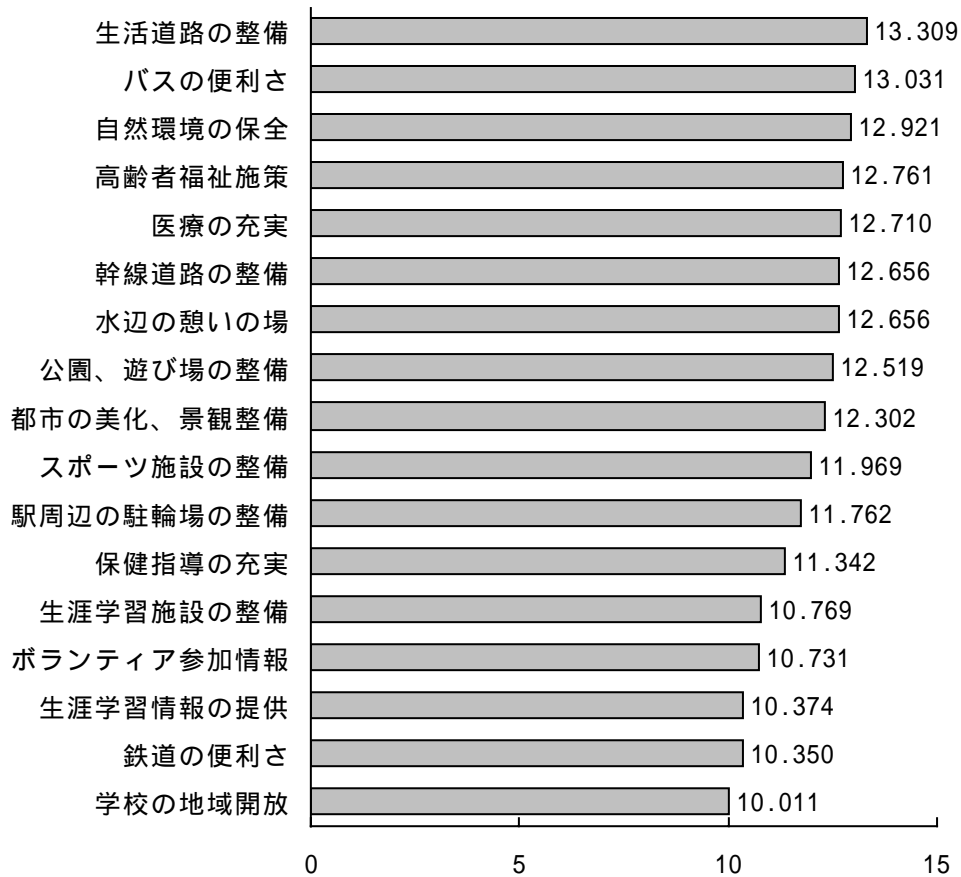
< 満足度・重要度の平均ポイントの散布図 >



・満足度と重要度との関連性について分析を試みる。重要度が高いのに関わらず満足度が低い項目を最も優先して取り組むべき課題であると考え、上の散布図における重要度が3.8以上かつ満足度が3.0以下の範囲（網掛け部分）に含まれる6項目を重点項目であるとする。

・平成14年度調査と比較すると、同じ範囲に含まれていたのは8項目であり、うち「医療の充実」と「水辺の憩いの場」が今回は範囲を外れている。また、「生活道路の整備」及び「幹線道路の整備」は重要度が大幅に増えており、重点施策としての優先度が増している。

< ニーズ得点（全体平均） >



・満足度と重要度から「ニーズ得点」を算出し、市政に対する市民のニーズについて分析する。ニーズ得点は、重要度が高いほど、かつ、満足度が低いほど、点数が高くなる指標であり、重要度得点と満足度得点を平均ポイント算出時と同様に設定したうえで下記のように算出される。

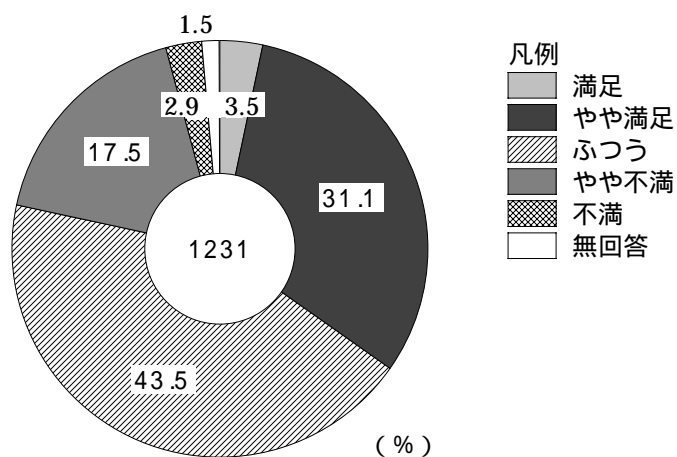
$$\text{ニーズ得点} = \text{重要度得点} \times (6 - \text{満足度得点})$$

・ニーズ得点が高い上位5項目は、以下のようになっている。

1	：生活道路の整備	.....	13.309
2	：バスの便利さ	.....	13.031
3	：自然環境の保全	.....	12.921
4	：高齢者福祉施策	.....	12.761
5	：医療の充実	.....	12.710

## (2) 現状に対する総合的満足度

問5. 刈谷市の現状について、あなたは総合的にみてどのように感じていますか。次のうちからあてはまるもの1つだけ選んで、をつけてください。

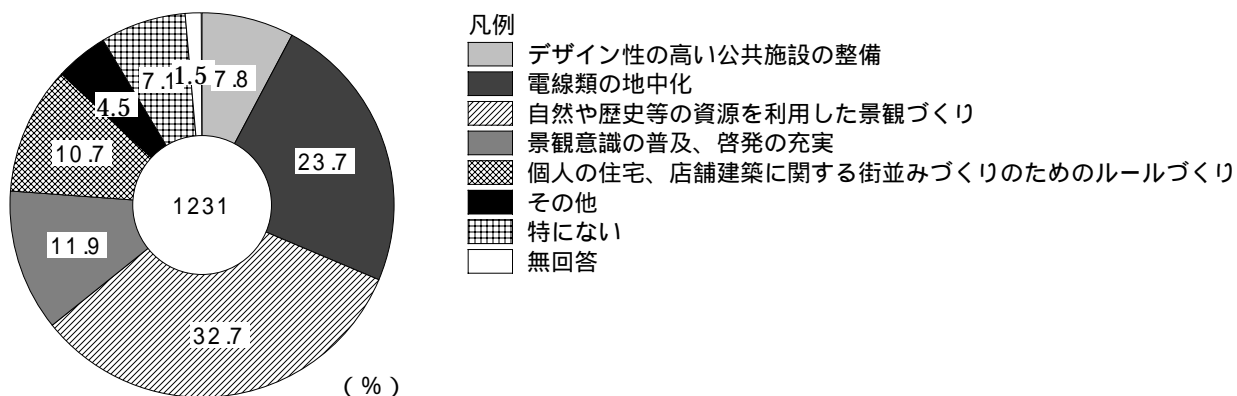


・「ふつう」が 43.5%で最も多い。次いで「やや満足」が 31.1%であり、「満足」(3.5%)と合わせて 34.6%の人が総合的に『満足』であると評価している。

### (3) 景観づくり

問6. あなたは、刈谷市のまちづくりを進めるにあたって、何に力を入れるべきだと思いますか。**次の問6-1～6-7までの設問**について、最もあてはまるものを**1つだけ**選んで、をつけてください。

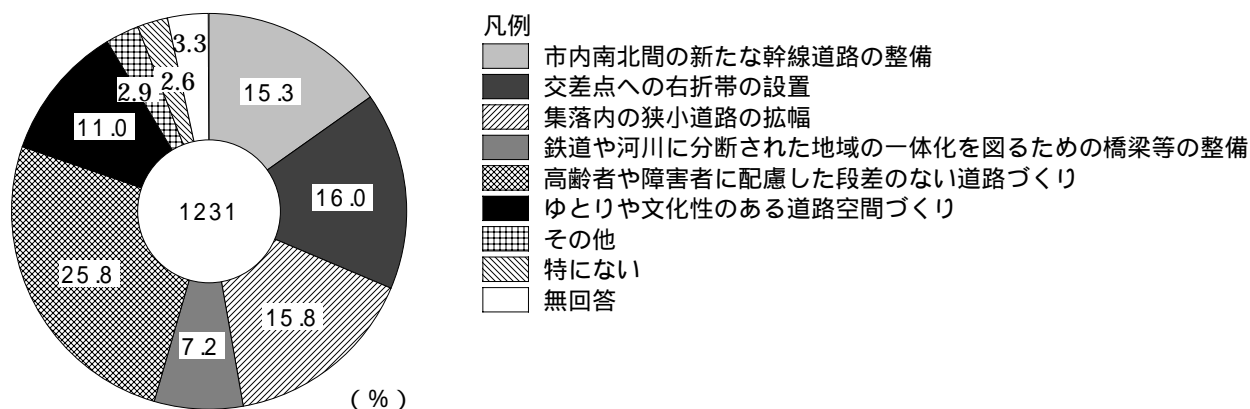
問6-1. あなたは、美しい街並みなどの景観づくりを進めるにあたって何に力を入れるべきだと思いますか。



・「自然や歴史等の資源を利用した景観づくり」が32.7%、「電線類の地中化」が23.7%であり、この2つが合わせて過半数を占めている。

### (4) 道路づくり

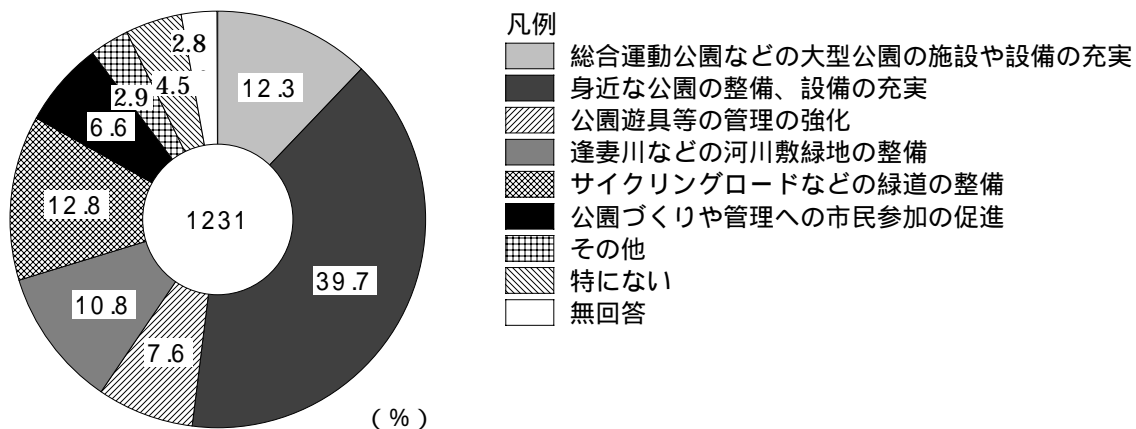
問6-2. 道路整備を進めるにあたって何に力を入れるべきだと思いますか。



・「高齢者や障害者に配慮した段差のない道路づくり」が25.8%で最も多く、以下、「交差点への右折帯の設置」(16.0%)、「集落内の狭小道路の拡幅」(15.8%)、「市内南北間の新たな幹線道路の整備」(15.3%)が続いている。

### ( 5 ) 公園・緑地の整備

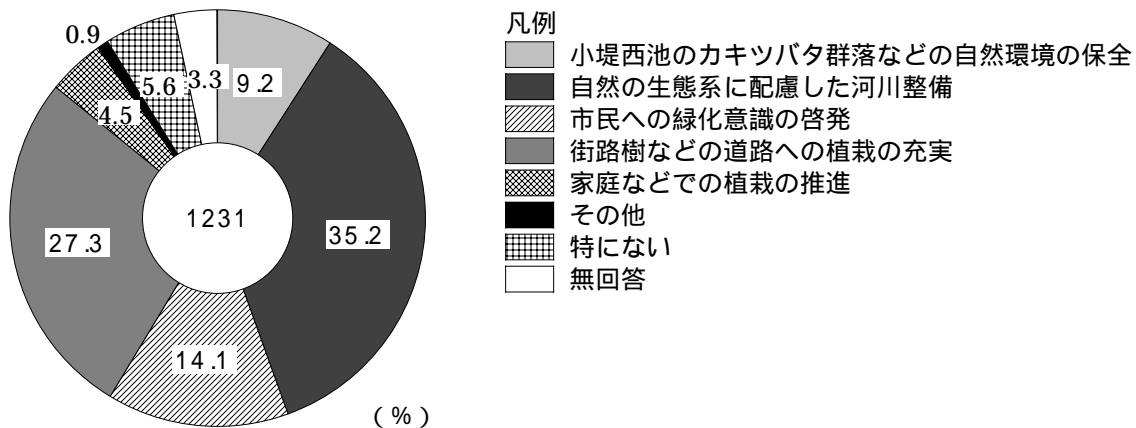
問 6 - 3 . 公園や緑地整備を進めるにあたって何に力をいれるべきだと思いますか。



・「身近な公園の整備、設備の充実」が 39.7%で最も多く、以下、「サイクリングロードなどの緑道の整備」( 12.8% )、「総合運動公園などの大型公園の施設や設備の充実」( 12.3% )、「逢妻川などの河川敷緑地の整備」( 10.8% )が続いている。

### ( 6 ) 緑化の推進や自然環境の保全

問 6 - 4 . 緑化の推進や自然環境の保全を図るために何に力をいれるべきだと思いますか。

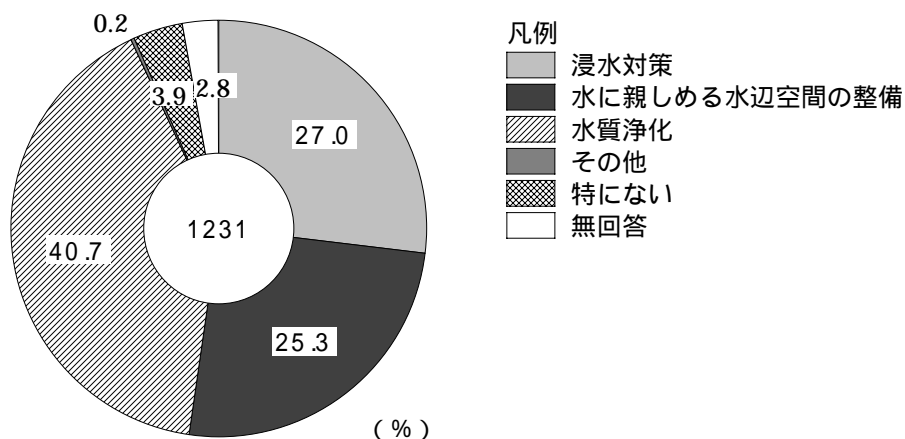


・「自然の生態系に配慮した河川整備」が 35.2%で最も多く、以下「街路樹などの道路への植栽の充実」( 27.3% )、「市民への緑化意識の啓発」( 14.1% )が続いている。



## (7) 河川や池沼の整備

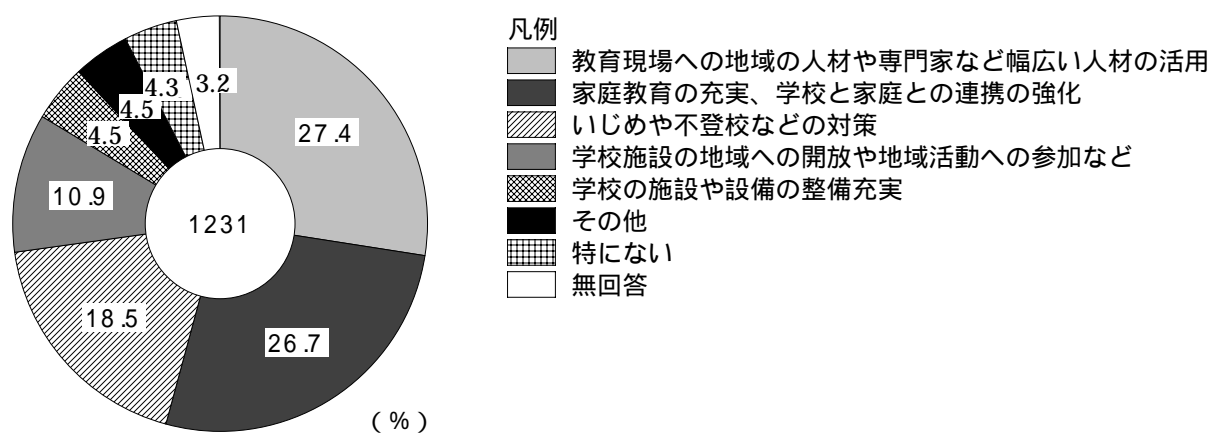
問6-5. 河川や池沼の整備を進めるにあたって何に力をいれるべきだと思いますか。



・「水質浄化」が40.7%で最も多く、以下「浸水対策」(27.0%)、「水に親しめる水辺空間の整備」(25.3%)が続いている。

## (8) 小中学校の学校教育の充実

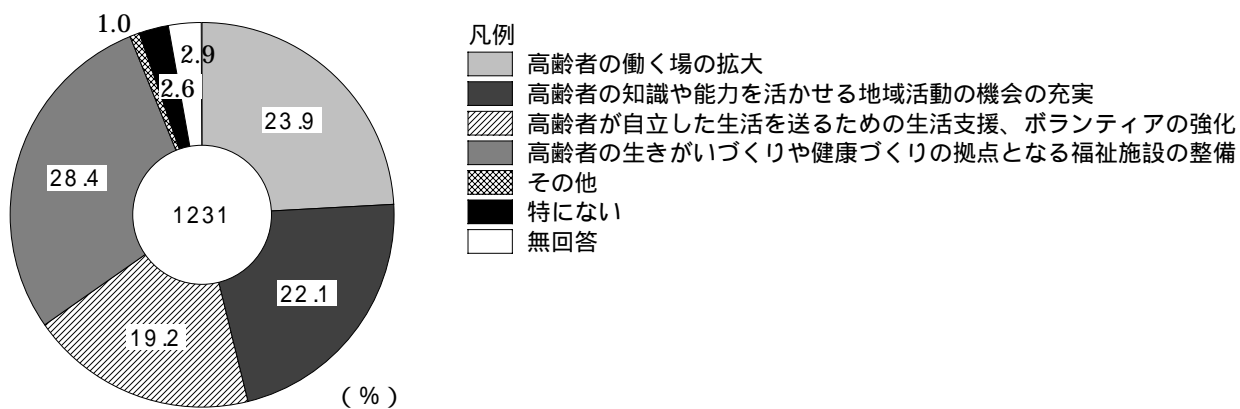
問6-6. 小・中学校の学校教育の充実を図るために何に力をいれるべきだと思いますか。



・「教育現場への地域の人材や専門家など幅広い人材の活用」が27.4%で最も多いが、僅差で「家庭教育の充実、学校と家庭との連携の強化」(26.7%)が続いている。以下「いじめや不登校などの対策」(18.5%)、「学校施設の地域への開放や地域活動への参加など」(10.9%)の順で多くなっている。

## ( 9 ) 高齢者福祉の充実

問 6 - 7 . 高齢者福祉のために何に力をいれるべきだと思いますか。

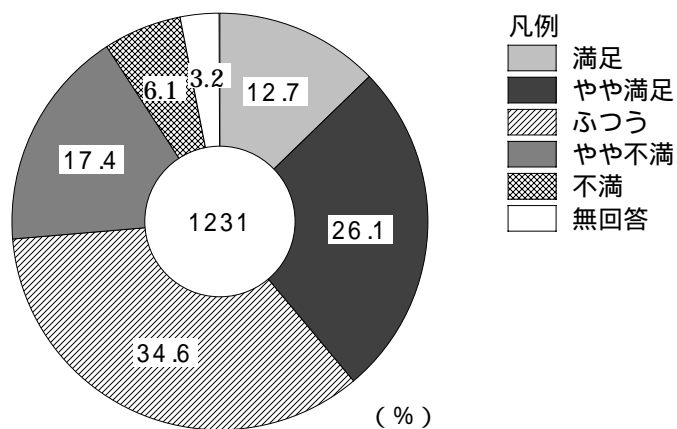


・「高齢者の生きがいつくりや健康づくりの拠点となる福祉施設の整備」が 28.4%で最も多く、以下「高齢者の働く場の拡大」( 23.9% )、「高齢者の知識や能力を活かせる地域活動の機会の充実」( 22.1% )、「高齢者が自立した生活を送るための生活支援、ボランティアの強化」( 19.2% )が続いている。

## 4 住宅・周辺環境について

### (1) 住宅について

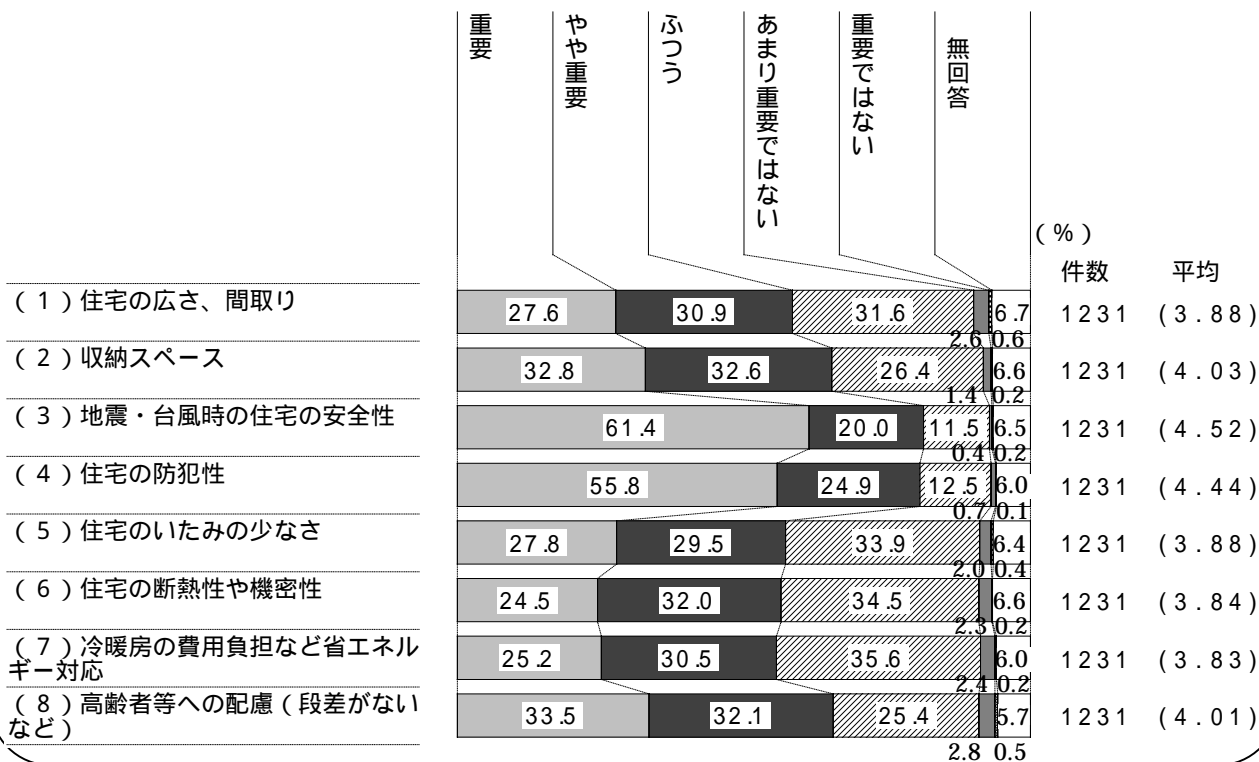
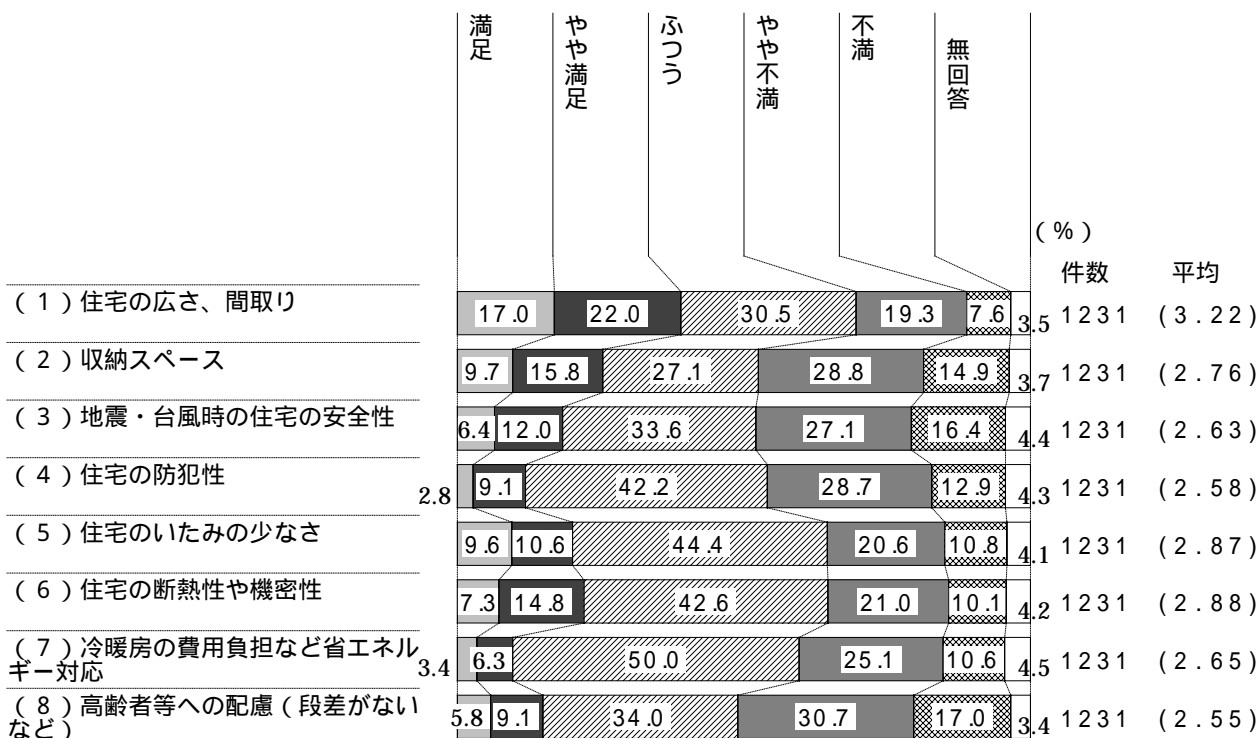
問7．現在お住まいの住宅について、あなたは総合的に見てどのように感じていますか。  
次のうちからあてはまるもの1つだけ選んで、をつけてください。



・「ふつう」が 34.6%で最も多く、以下「やや満足」(26.1%)、「やや不満」(17.4%)、「満足」(12.7%)、「不満」(6.1%)の順となっている。全体的にみて、ふつう以上の満足度があることがうかがえる。

( 2 ) 住宅に対する現在の満足度と重要度

問 8 . 現在お住まいの住宅に対し、あなたのお気持ちに最も近いものを、( 1 ) ~ ( 8 ) までの項目について、**満足度、重要度でそれぞれ1つずつ**選んで、をつけてください。

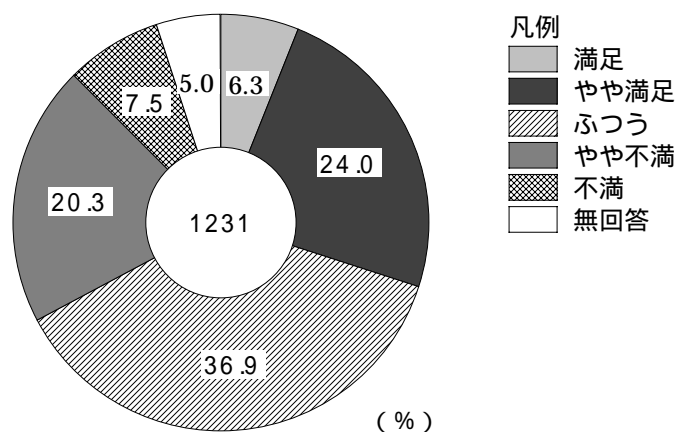


・満足度についてみると、平均ポイントが最も高いのは「住宅の広さ、間取り」で、「満足」「やや満足」とも全項目中最も高く、平均ポイントが唯一3を超えている。平均ポイントの高い順にみると、以下「住宅の断熱性や機密性」、「住宅のいたみの少なさ」、「収納スペース」が続いている。平均ポイントが最も低いのは「高齢者等への配慮（段差がないなど）」で、「不満」「やや不満」とも全項目中最も高くなっている。また、「収納スペース」は『満足』（「満足」＋「やや満足」）、『不満』（「不満」＋「やや不満」）とも全項目中2位となっており、評価が明確に分かれていることがうかがえる。

・重要度についてみると、平均ポイントが最も高いのは「地震・台風時の住宅の安全性」で、「重要」が6割強、『重要』（「重要」＋「やや重要」）が8割強となっている。「住宅の防犯性」がそれに続き、「重要」が5割強、『重要』が8割強となっており、この2項目の重要度が抜きん出て高くなっている。

### （3）住宅の周辺環境について

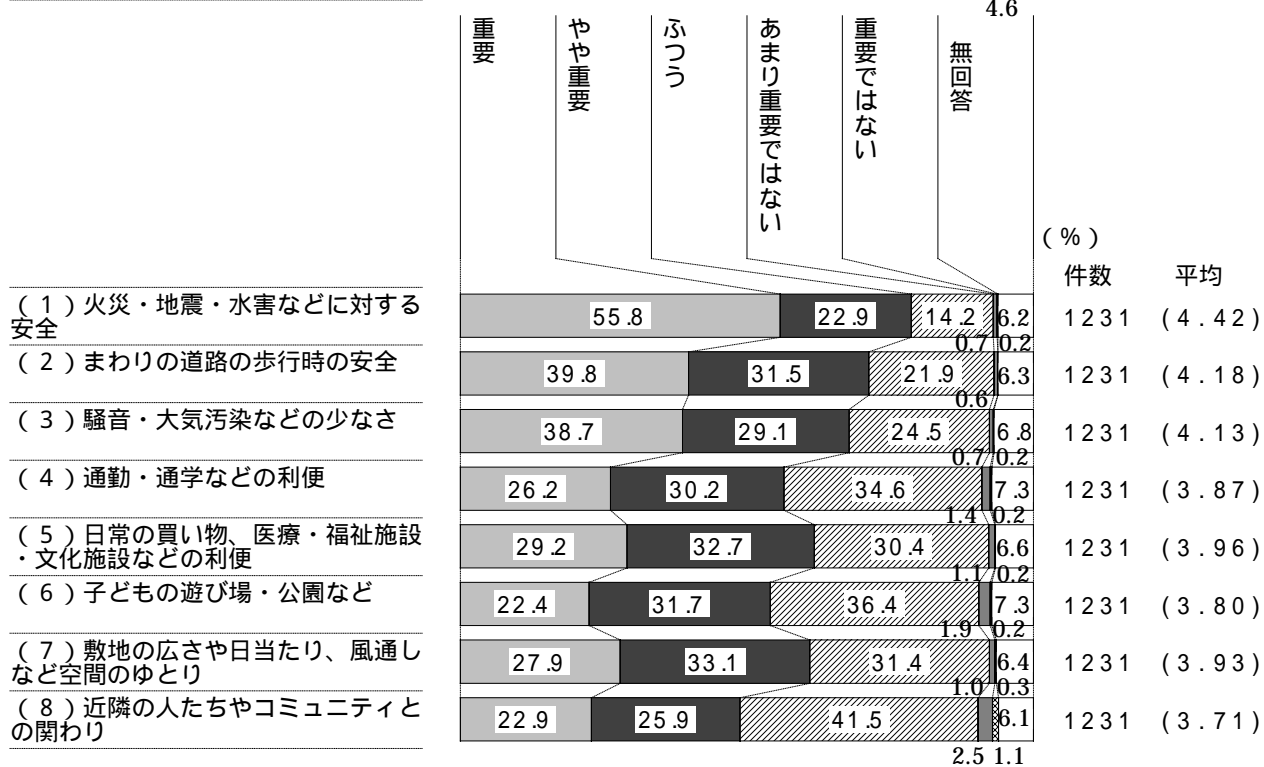
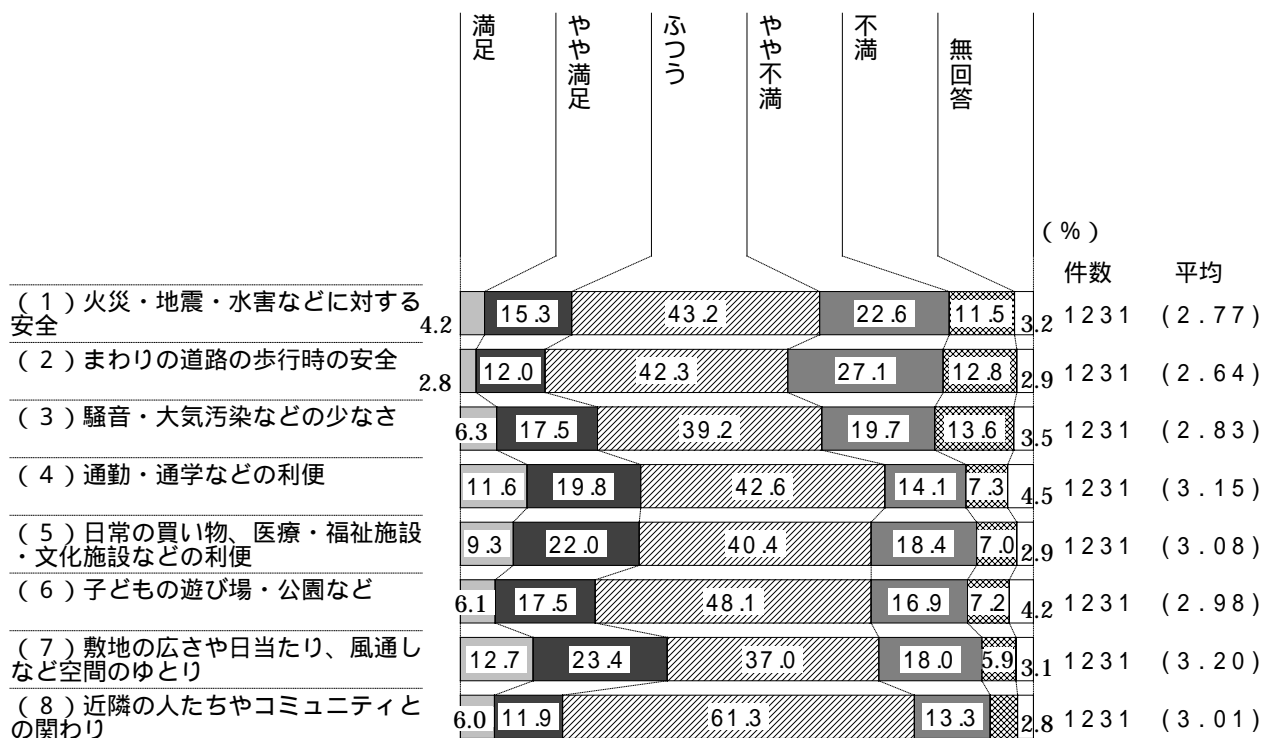
問9．現在お住まいの住宅周辺の環境について、あなたは総合的にみてどのように感じていますか。次のうちからあてはまるもの1つだけ選んで、をつけてください。



・「ふつう」が36.9%で最も多く、以下「やや満足」(24.0%)、「やや不満」(20.3%)、「不満」(7.5%)、「満足」(6.3%)の順となっている。全体的にみて、「ふつう」に近い満足度となっている。

(4) 周辺環境に対する現在の満足度と重要度

問 10. 現在お住まいの住宅に対し、あなたのお気持ちに最も近いものを、(1)～(8)までの項目について、**満足度、重要度でそれぞれ1つずつ**選んで、をつけてください。



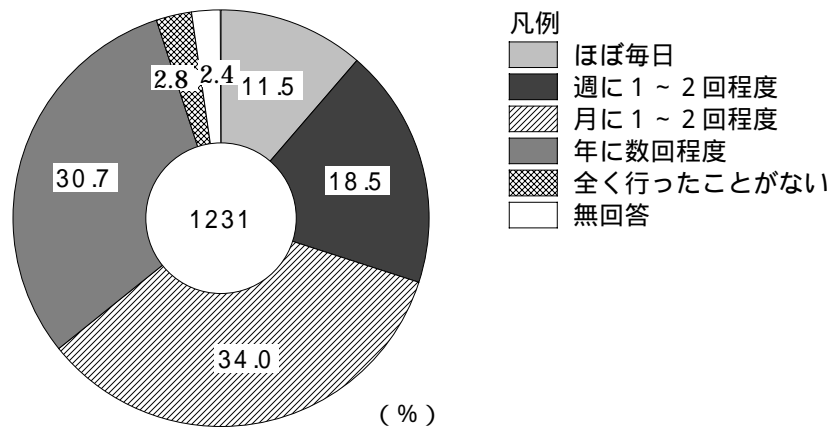
・満足度についてみると、平均ポイントが最も高いのは「敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり」で、「満足」「やや満足」とも全項目中最も高くなっている。平均ポイントの高い順にみると、以下「通勤・通学などの利便」、「日常の買い物、医療・福祉施設・文化施設などの利便」、「近隣の人たちやコミュニティとの関わり」が続いている。平均ポイントが最も低いのは「まわりの道路の歩行時の安全」で、『不満』がほぼ4割を占めている。また、「近隣の人たちやコミュニティとの関わり」は「ふつう」が6割強と多くなっている。

・重要度についてみると、平均ポイントが最も高いのは「火災・地震・水害などに対する安全」で、「重要」が5割強、『重要』が8割弱となっている。以下「まわりの道路の歩行時の安全」、「騒音・大気汚染などの少なさ」が続いている。平均ポイントが最も低いのは「近隣の人たちやコミュニティとの関わり」であるが、『重要でない』（「重要でない」+「あまり重要でない」）は3.6%にとどまっている。

## 5 刈谷駅周辺について

### (1) 刈谷駅周辺を訪れる頻度

問 11. 刈谷駅周辺には、どのくらいの頻度で訪れますか。次のうちからあてはまるもの 1つだけ選んで、をつけてください。

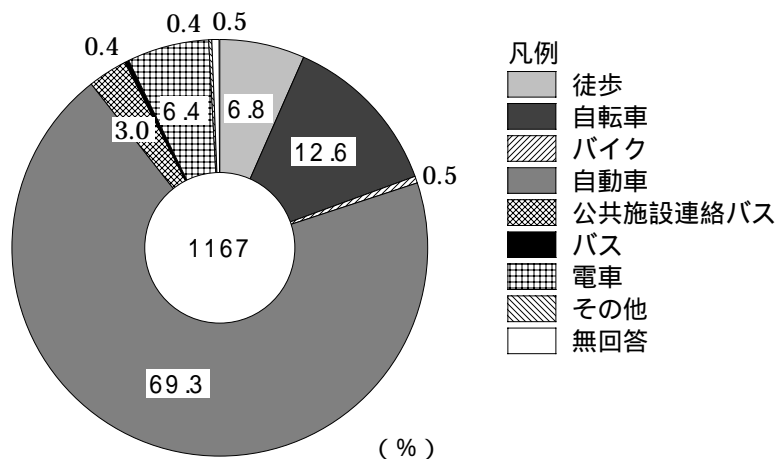


・「月に1~2回程度」が34.0%で最も多く、以下「年に数回程度」(30.7%)、「週に1~2回程度」(18.5%)、「ほぼ毎日」(11.5%)の順となっている。「全く行ったことがない」は2.8%となっている。

(2) 駅周辺を訪れる交通手段と目的

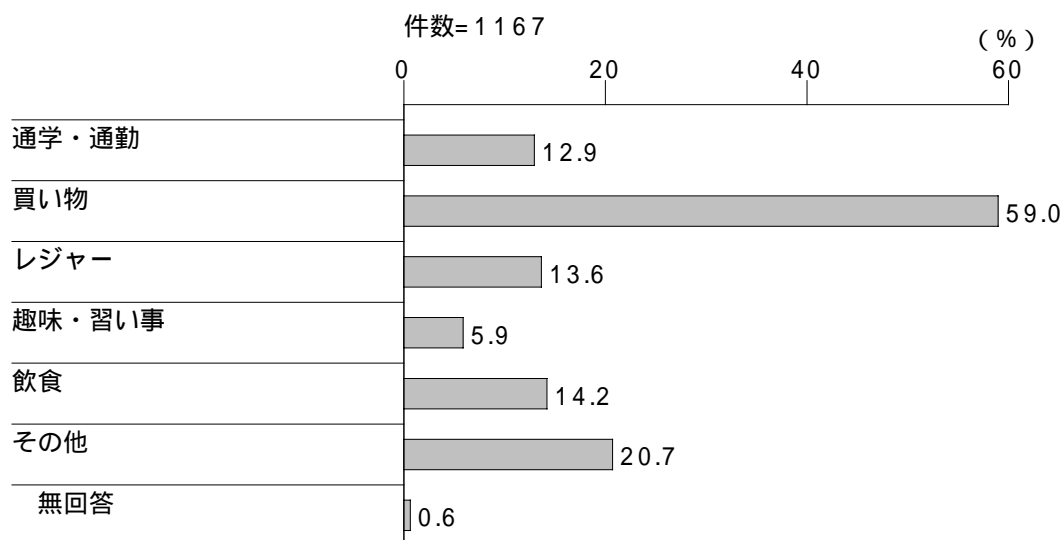
【問 11 で、1～4 のいずれかに答えた方にお聞きします。】

問 11 - 1 . 刈谷駅周辺には主にどのような手段で訪れますか。次のうちからあてはまるもの 1つだけ選んで、 をつけてください。



・「自動車」(69.3%) が最も多く、約7割を占めている。以下「自転車」(12.6%)、「徒歩」(6.8%)、「電車」(6.4%)、「公共施設連絡バス」(3.0%)が続いている。

問 11 - 2 . 刈谷駅周辺にはどのような目的で訪れますか。次のうちからあてはまるもの すべてに、 をつけてください。



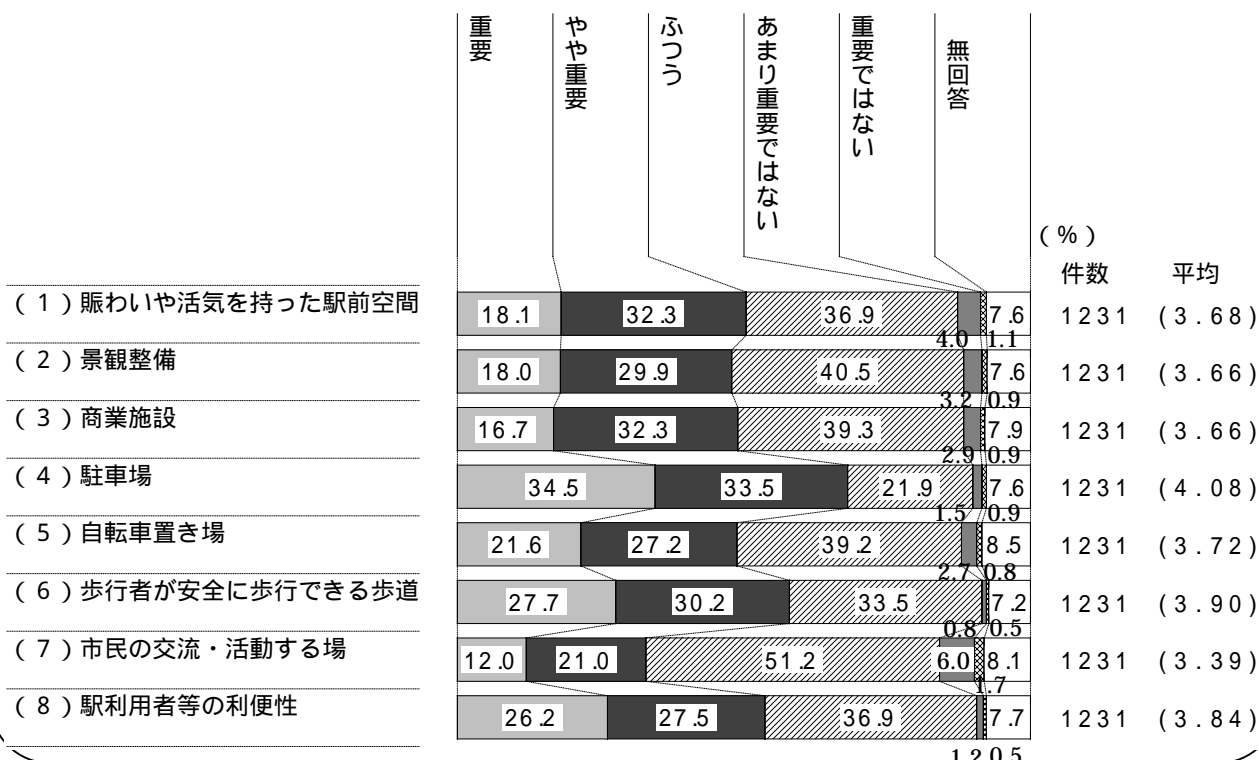
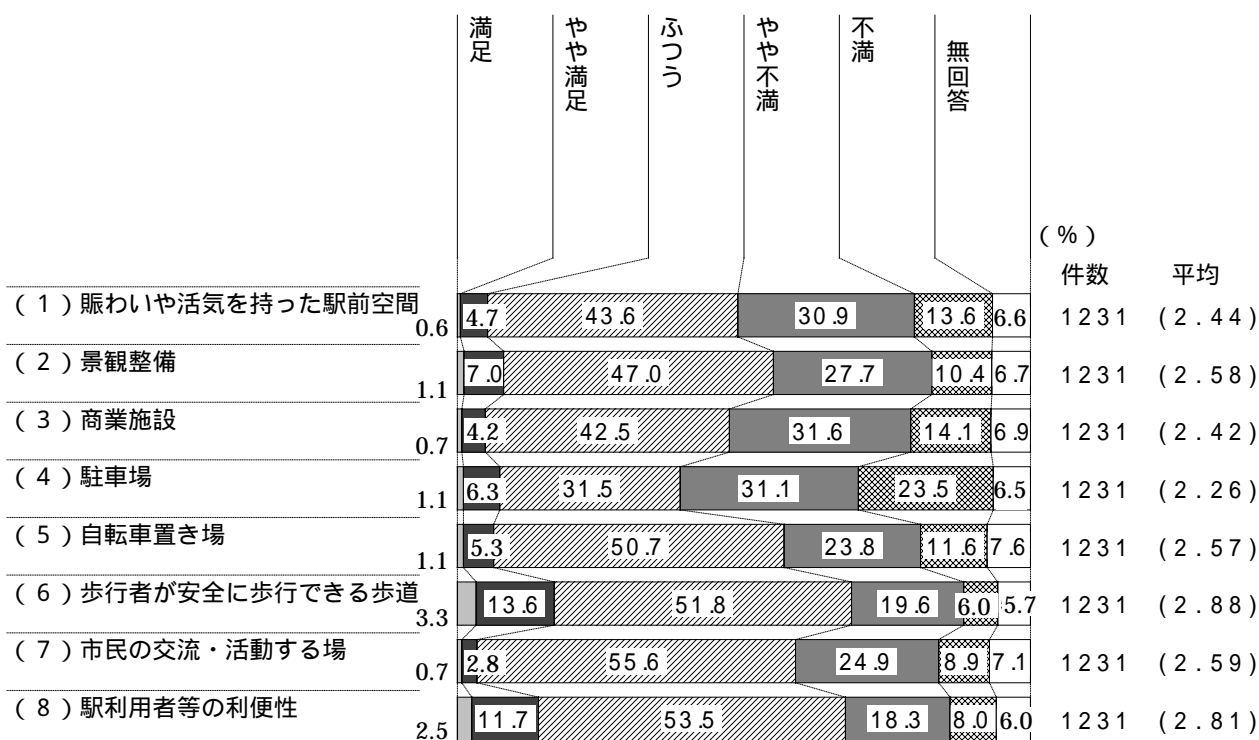
・「買い物」が 59.0% で最も多く、以下「その他」(20.7%)、「飲食」(14.2%)、「レジャー」(13.6%)、「通学・通勤」(12.9%)、「趣味・習い事」(5.9%)の順となっている。

・「その他」の内訳は、「家族などの送迎」(5.0%)、「通院」(2.7%)、「電車利用」(2.1%)などとなっている。



(3) 駅周辺に対する現在の満足度と重要度

問 12. 刈谷駅周辺の現状に対し、あなたのお気持ちに最も近いものを、(1)～(8)までの項目について、**満足度、重要度でそれぞれ1つずつ**選んで、をつけてください。

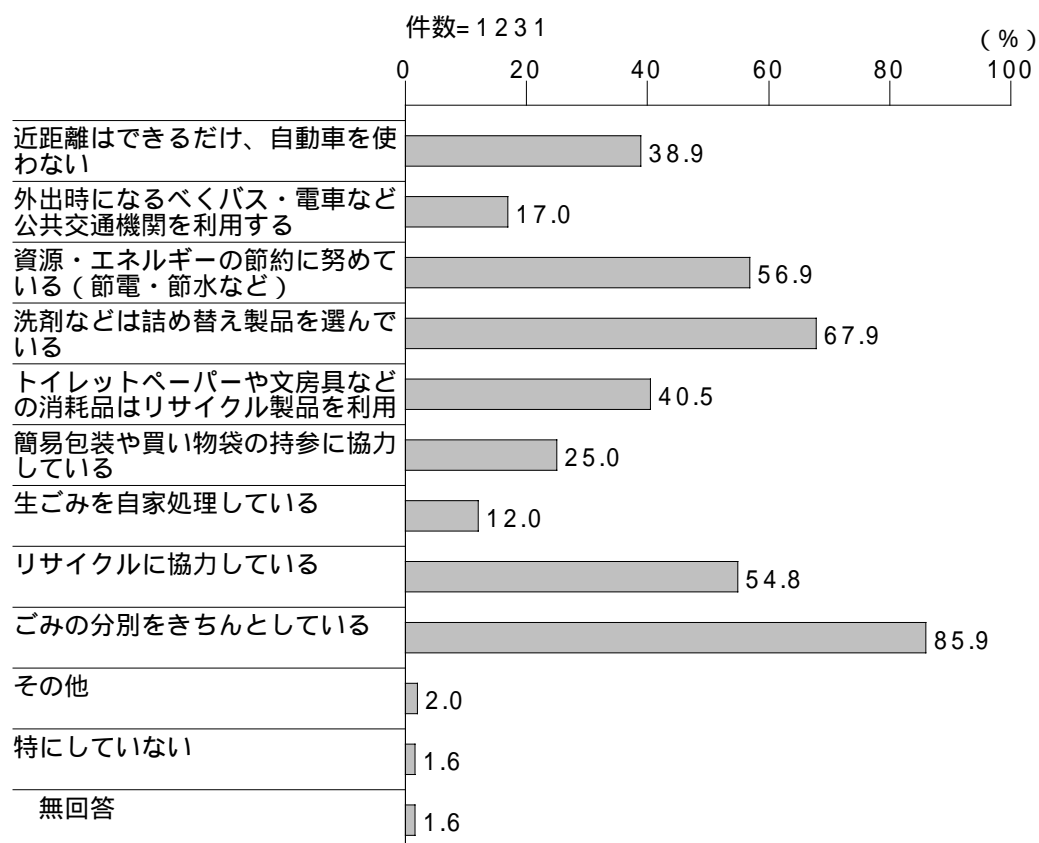


・満足度についてみると、平均ポイントが最も高いのは「歩行者が安全に歩行できる歩道」で、「満足」「やや満足」とも全項目中最も高くなっている。平均ポイントの高い順にみると、以下「駅利用者等の利便性」、「市民の交流・活動する場」、「景観整備」が続いている。平均ポイントが最も低いのは「駐車場」で、『不満』が過半数を占めている。全項目の平均ポイントが3以下であり、全体的に不満度が高い結果となっている。

・重要度についてみると、平均ポイントが最も高いのは「駐車場」で、「重要」が3割強、『重要』が7割弱となっている。以下「歩行者が安全に歩行できる歩道」、「駅利用者の利便性」が続いている。平均ポイントが最も低いのは「市民の交流・活動する場」であるが、『重要でない』は7.7%にとどまっている。

## 6 環境について

問 13. あなたは、環境にやさしい生活のためにどのようなことをしていますか。次のうちからあてはまるもの**すべてに**、をつけてください。

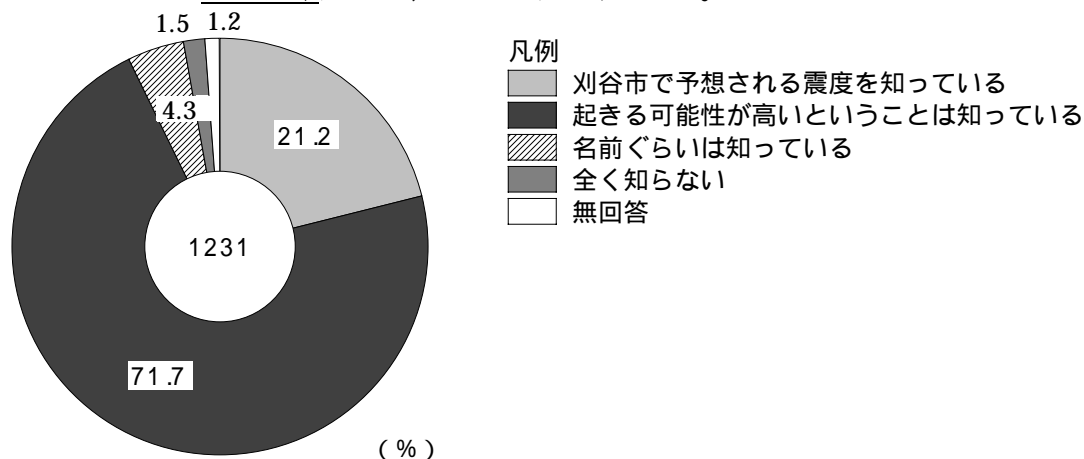


・「ごみの分別をきちんとしている」が 85.9%で最も多く、以下「洗剤などは詰め替え製品を選んでいる」(67.9%)、「資源・エネルギーの節約に努めている (節電・節水など)」(56.9%)、「リサイクルに協力している」(54.8%) が過半数に達している。

## 7 防災・災害対策について

### (1) 東海地震の認知度

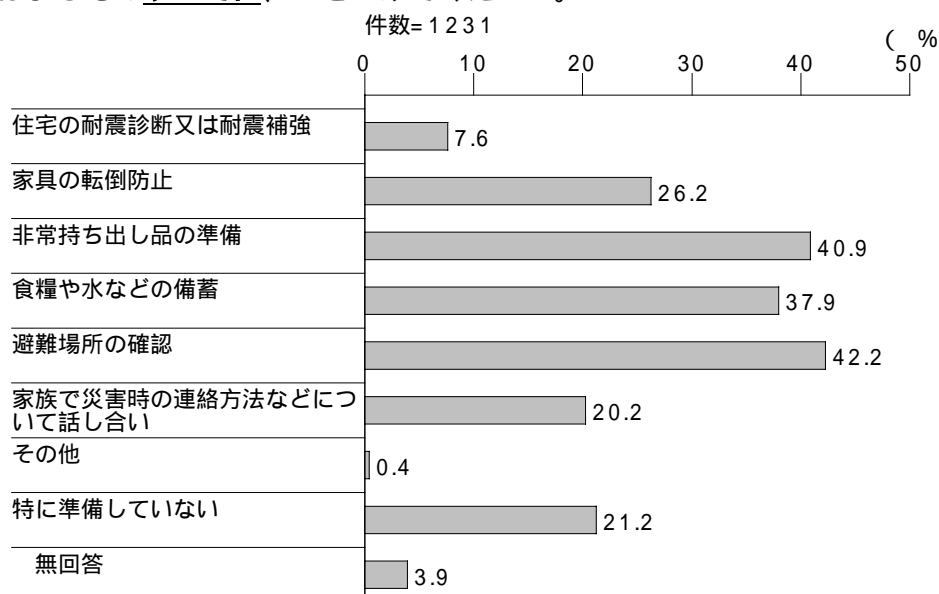
問 14. あなたは、東海地震などについてどの程度まで知っていますか。次のうちからあてはまるもの**1つだけ**選んで、をつけてください。



・「起きる可能性が高いということは知っている」が 71.7%と最も高く、「刈谷市で予想される震度を知っている」は 21.2%、「名前ぐらいは知っている」は 4.3%、「全く知らない」は 1.5%である。

### (2) 家庭での地震のための備え

問 15. あなたの家では、地震に対してどのような備えをしていますか。次のうちからあてはまるもの**すべてに**、をつけてください。

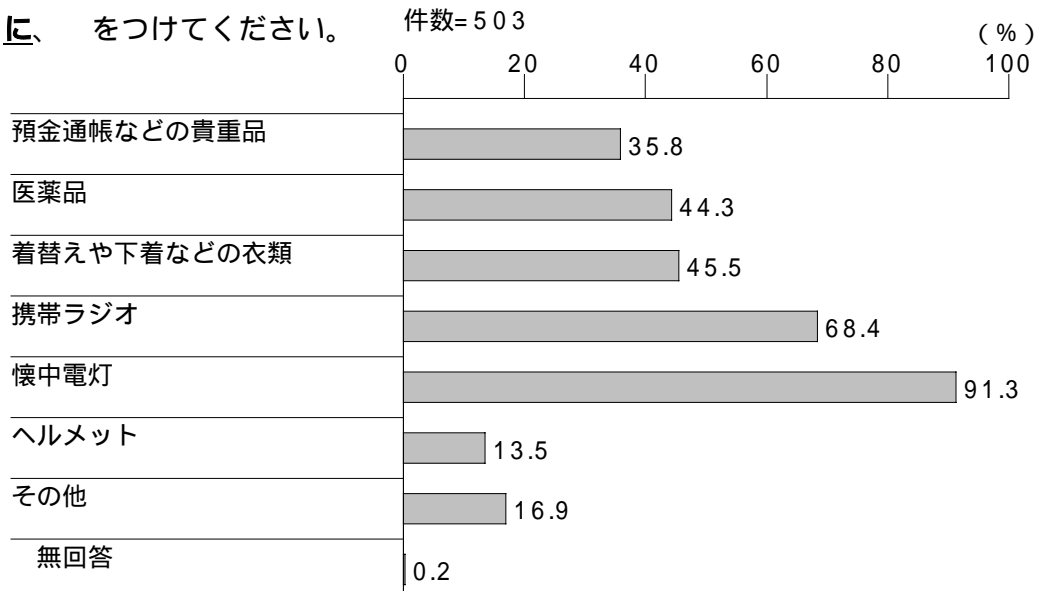


・「避難場所の確認」が 42.2%で最も多く、以下「非常持ち出し品の準備」(40.9%)、「食糧や水などの備蓄」(37.9%)、「家具の転倒防止」(26.2%)などが続いている。また、「特に準備していない」は 21.2%となっている。

(3) 準備している非常持ち出し品

【問 15 で「3. 非常持ち出し品の準備」と答えた方にお聞きします。】

問 16. 具体的にはどのような準備をしていますか。次のうちからあてはまるものすべてに、をつけてください。



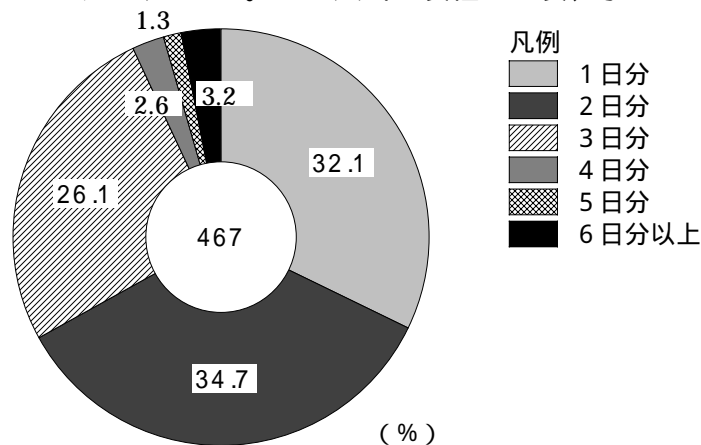
・「懐中電灯」が 91.3%で最も多く、以下「携帯ラジオ」(68.4%)、「着替えや下着などの衣類」(45.5%)、「医薬品」(44.3%)、「預金通帳などの貴重品」(35.8%)、「その他」(16.9%)の順となっている。

・「その他」の内訳は、「食糧や水」(8.3%)、「タオル」(1.8%)、「ラップ」(1.8%)の順で多く、他に「ティッシュ、トイレットペーパー」、「軍手・手袋」、「笛」などが挙げられている。

(4) 食糧や水の備蓄量

【問 15 で「4. 食糧や水などの備蓄」と答えた方にお聞きします。】

問 17. 食糧や水は、何日分の備蓄をしていますか。次のうちからあてはまるもの1つだけを選んで、をつけてください。1人当り食糧は3食、水は3リットルを1日分とする。

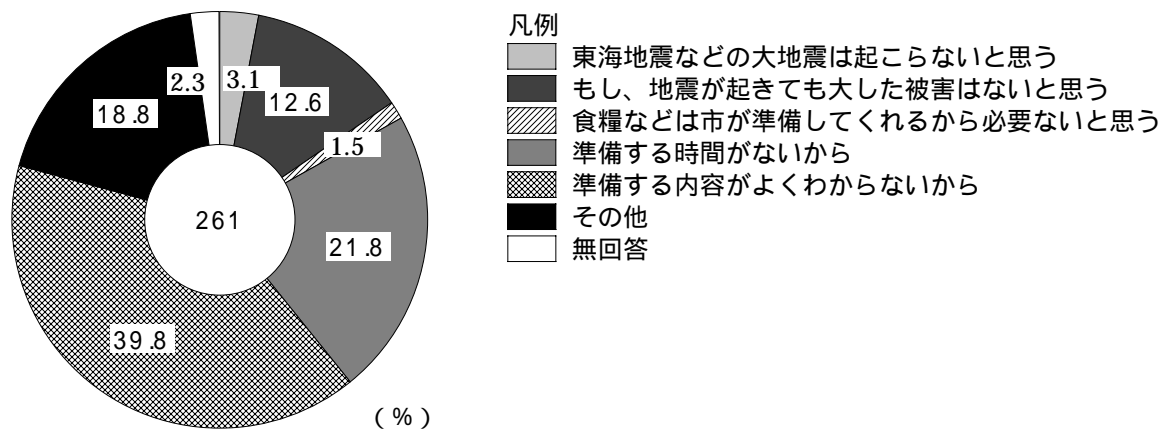


・「2日分」が 34.7%で最も多く、次いで「1日分」が 32.1%、「3日分」が 26.1%となっている。4日分以上備蓄している家庭は 7.1%となっている。

(5) 準備していない理由

【問15で「8.特に準備していない」と答えた方だけにお聞きします。】

問18.なぜ準備していないのですか。次のうちからあてはまるもの1つだけ選んで、  
をつけてください。

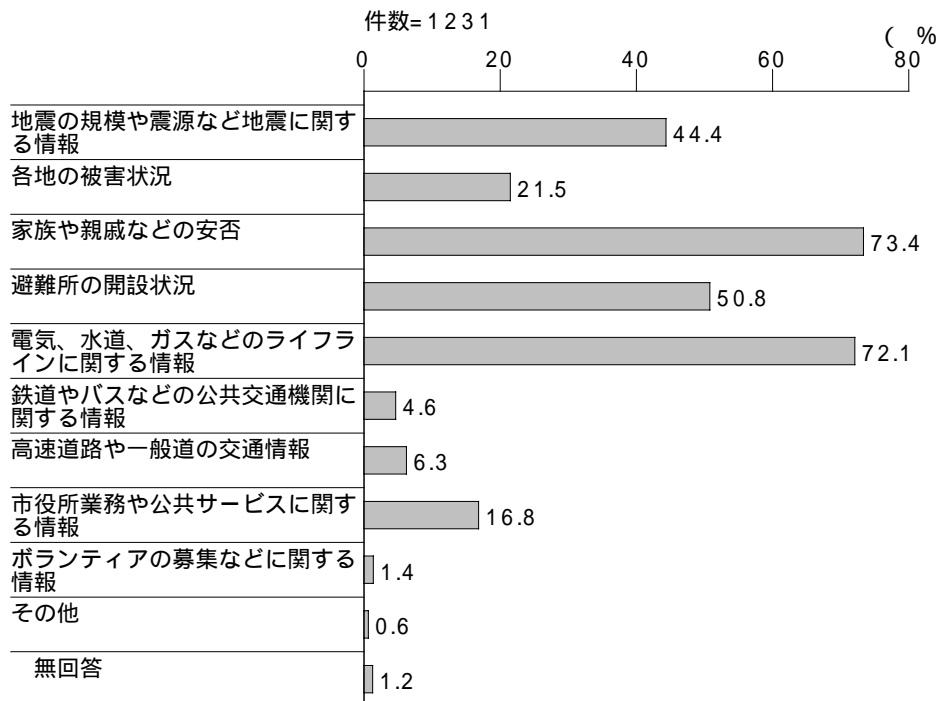


・「準備する内容がよくわからないから」が39.8%で最も多く、以下「準備する時間がないから」(21.8%)、「その他」(18.8%)、「もし、地震が起きても大した被害はないと思う」(12.6%)などが続いている。

・「その他」の内訳は、「なかなか実行できないから」(4.2%)、「いつ起こるかわからないから」(3.4%)、「これから準備するところだから」(2.7%)などとなっている。「以前から準備をしてきたが、持ち出し品の入れ換え作業が面倒になりやめてしまった」という意見もあった。

( 6 ) 地震発生時に必要な情報

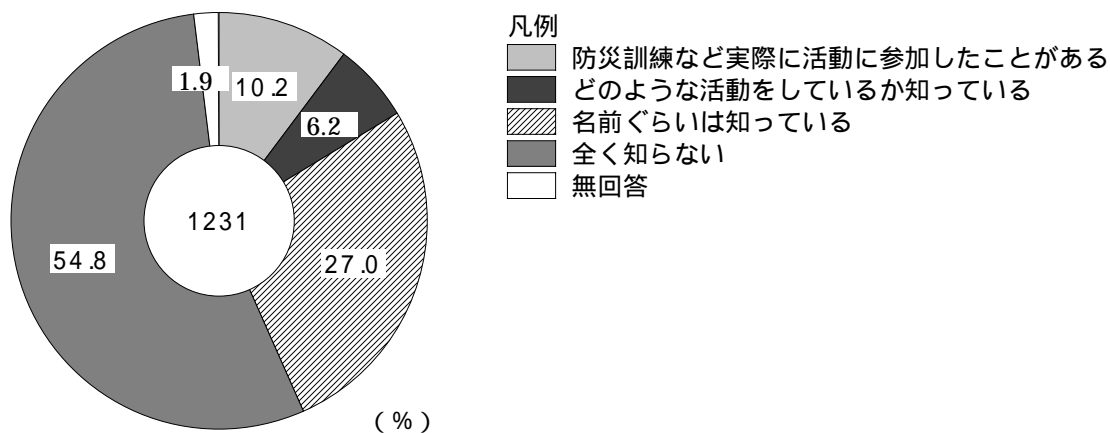
問 19 . 大地震が起こった場合に、あなたはどのような情報が必要だと思いますか。次のうちから必要性が高いと思うもの**3つ**選んで、をつけてください。



・「家族や親戚などの安否」が 73.4%で最も多く、以下「電気、水道、ガスなどのライフラインに関する情報」(72.1%)、「避難所の開設状況」(50.8%)などが続いている。

( 7 ) 自主防災会の認知度

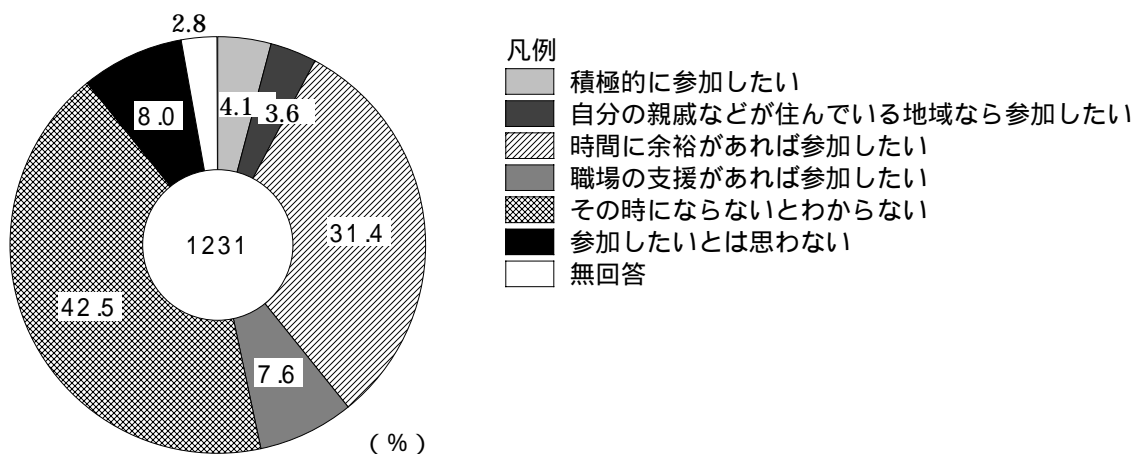
問 20 . あなたは、各地区に自主防災会という組織があることを知っていますか。次のうちからあてはまるもの**1つだけ**選んで、をつけてください。



・「全く知らない」が 54.8%で、過半数に達している。「名前ぐらいは知っている」は 27.0%、「防災訓練など実際に活動に参加したことがある」は 10.2%、「どのような活動をしているか知っている」は 6.2%となっており、自主防災会を名前以上に知っている人は2割未満となっている。

( 8 ) 災害ボランティア活動への参加意向

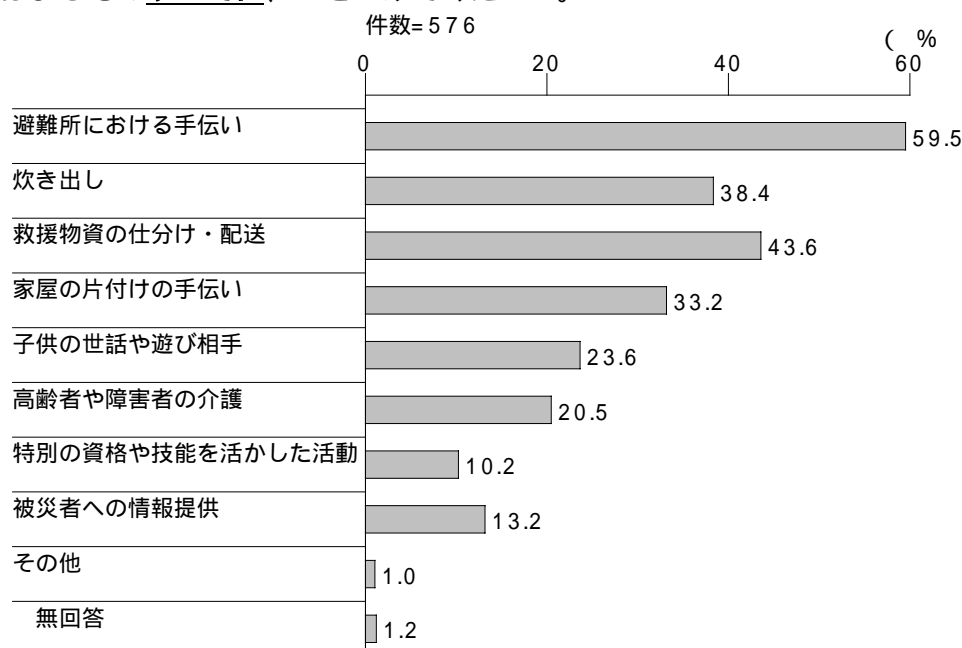
問 21 . あなたは、災害ボランティア活動に参加したいと思いますか。次のうちからあてはまるもの 1つだけ 選んで、 をつけてください。



・「その時にならないとわからない」が 42.5%で最も多く、次いで「時間に余裕があれば参加したい」が 31.4%で、この2つで7割以上を占めている。条件によらず「参加したい」は合わせて 46.7%、「参加したいとは思わない」は 8.0%となっており、半数に近い人が参加意向を持っている。

【問 21 で 1 ~ 4 のいずれかに答えた方にお聞きします。】

問 22 . あなたはどのような災害ボランティア活動に参加したいですか。次のうちからあてはまるもの すべてに、 をつけてください。

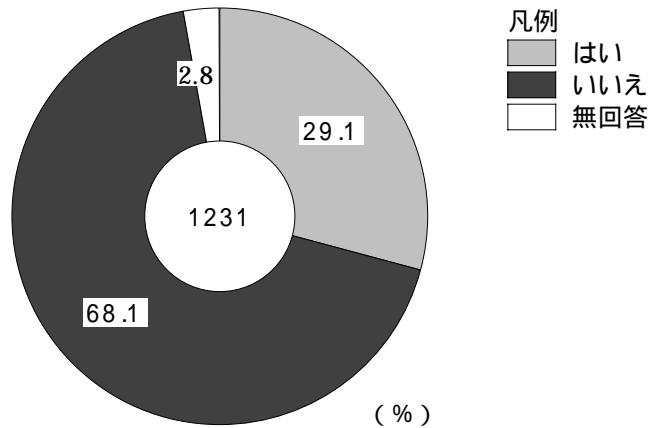


・「避難所における手伝い」が 59.5%で最も多く、以下「救援物資の仕分け・配送」( 43.6% )、「炊き出し」( 38.4% )、「家屋の片付けの手伝い」( 33.2% )などが続いている。

## 8 生涯学習・ボランティアについて

### (1) 生涯学習への取り組み状況

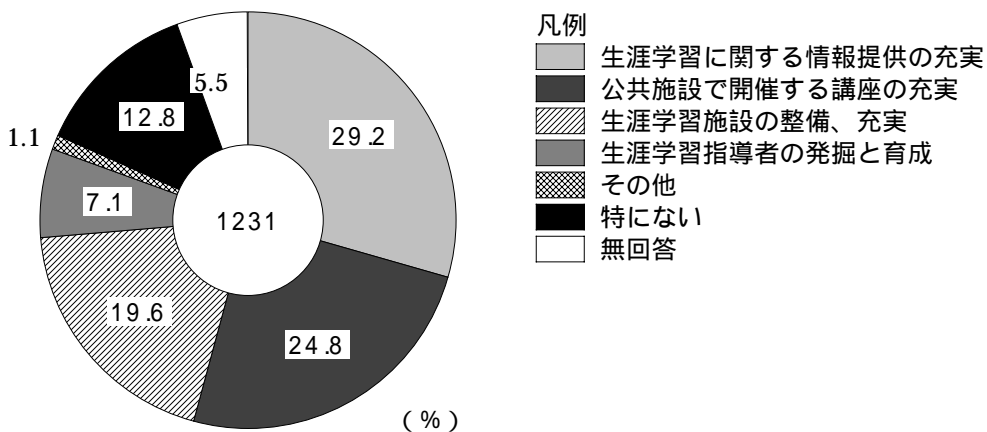
問 23. 『生涯学習』とは、一般的に子どもから高齢者まで、趣味、スポーツ、レクリエーション、ボランティア活動など、生きがいのある充実した活動をする事だといわれていますが、現在あなたは、『生涯学習』を行っていますか。次のうちからあてはまるものどちらかに、をつけてください。



・「はい」が29.1%、「いいえ」が68.1%となっている。

### (2) 生涯学習推進のために力を入れるべき点

問 24. 生涯学習を推進するにあたって何に力を入れるべきだと思いますか。次のうちからあてはまるもの1つだけ選んで、をつけてください。

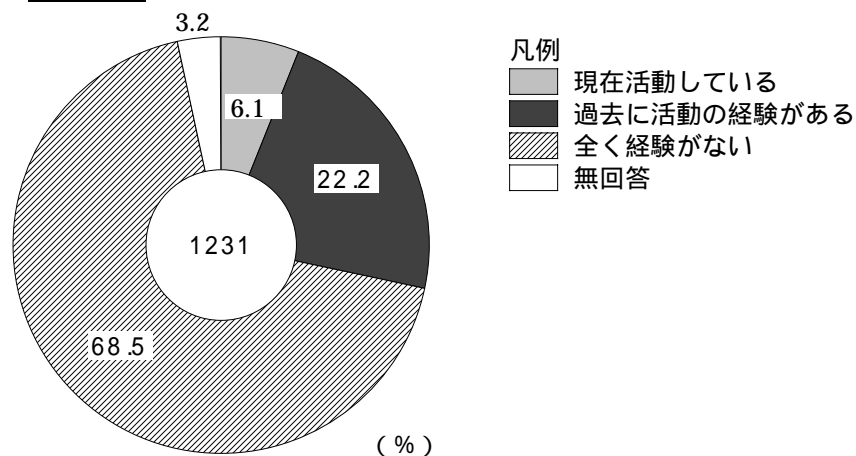


・「生涯学習に関する情報提供の充実」が29.2%で最も多く、以下「公共施設で開催する講座の充実」(24.8%)、「生涯学習施設の整備、充実」(19.6%)などが続いている。「特にない」は12.8%となっている。



### (3) ボランティア活動の経験

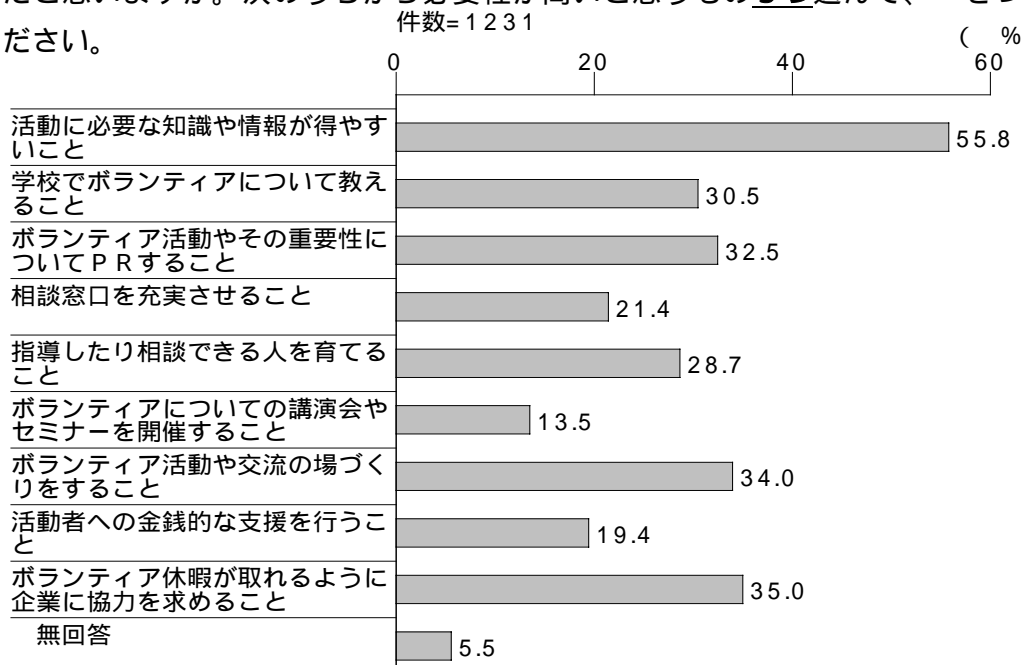
問 25. あなたは、今までにボランティア活動の経験がありますか。次のうちからあてはまるもの1つだけ選んで、をつけてください。



・「全く経験がない」が 68.5%、「過去に活動の経験がある」が 22.2%、「現在活動している」が 6.1%となっている。

### (4) ボランティア活動を盛んにするための支援

問 26. あなたは、ボランティア活動を盛んにするためには、どのような市の支援が必要だと思いますか。次のうちから必要性が高いと思うもの3つ選んで、をつけてください。

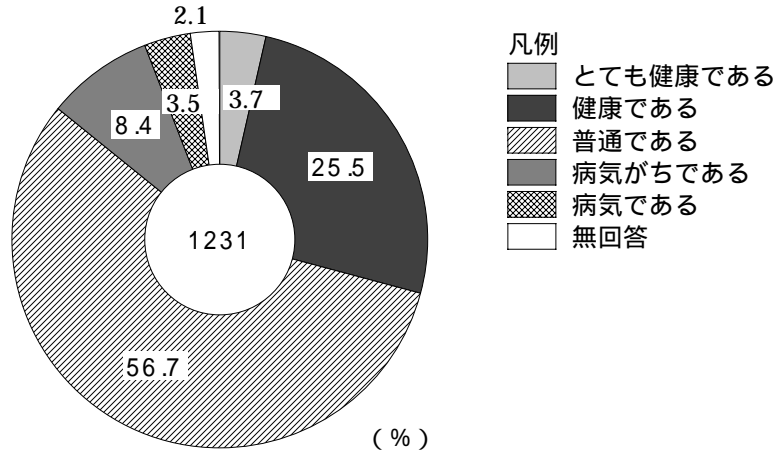


・「活動に必要な知識や情報が得やすいこと」が 55.8%で最も多く、以下「ボランティア休暇が取れるように企業に協力を求めること」(35.0%)、「ボランティア活動や交流の場づくりをすること」(34.0%)、「ボランティア活動やその重要性についてPRすること」(32.5%)などが続いている。

## 9 健康・スポーツについて

### (1) 自分の健康状態について

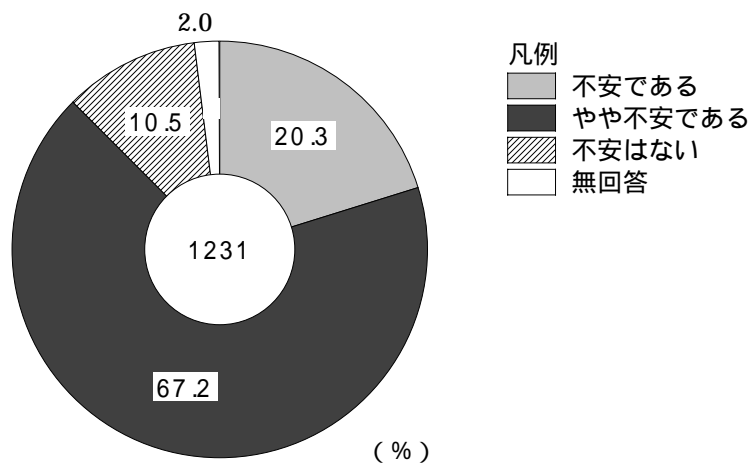
問 27. あなたは、自分の健康についてどのようにお考えですか。次のうちからあてはまるもの 1つだけ 選んで、をつけてください。



・「普通である」が 56.7%で最も多い。次いで「健康である」が 25.5%となっており、「とても健康である」(3.7%)と合わせて 29.2%の人が自分を『健康である』と評価している。「病気がちである」は 8.4%、「病気である」は 3.5%となっている。

### (2) 将来の健康についての不安

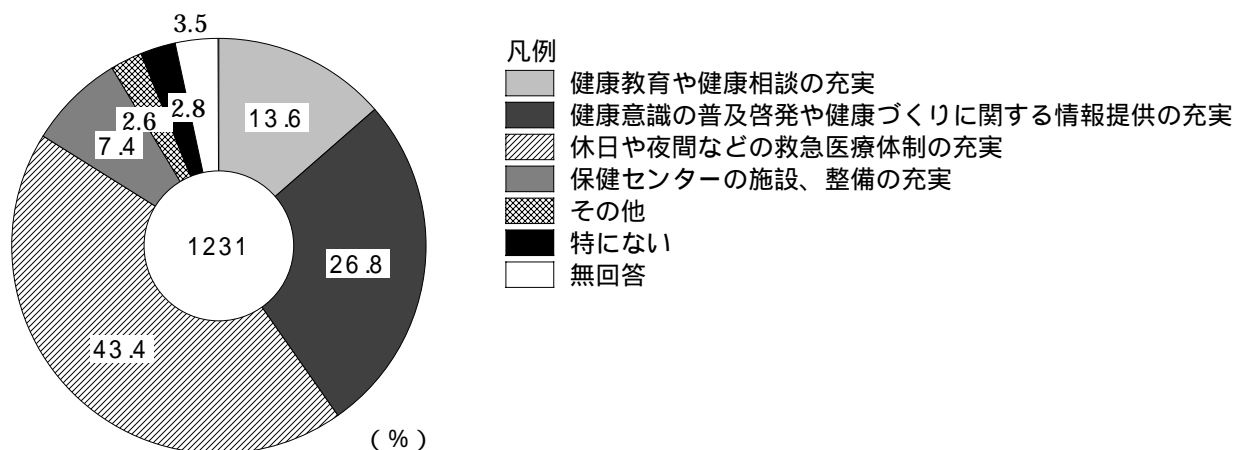
問 28. あなたは、将来の自分の健康について不安ですか。次のうちからあてはまるもの 1つだけ 選んで、をつけてください。



・「やや不安である」が 67.2%で最も多く、「不安である」(20.3%)と合わせて 87.5%の人が将来の自分の健康について『不安である』と考えている。

### (3) 市民の健康づくりのための施策

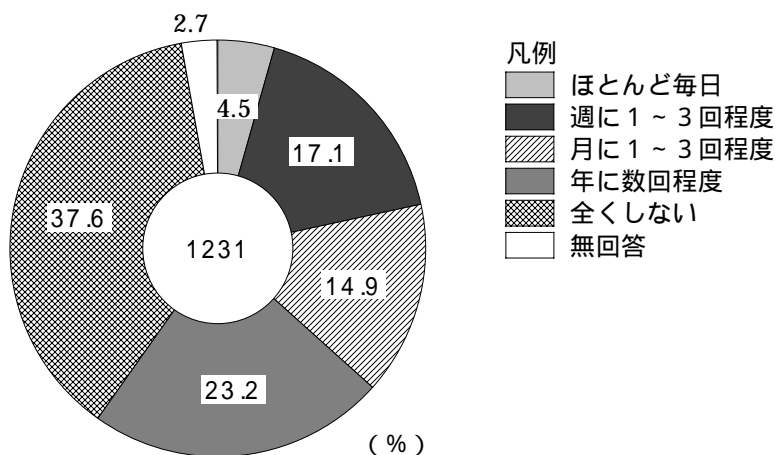
問 29. 市民の健康づくりを増進するため何に力を入れるべきだと思いますか。次のうちからあてはまるもの **1つだけ** 選んで、をつけてください。



・「休日や夜間などの救急医療体制の充実」が 43.4%で最も多く、以下「健康意識の普及啓発や健康づくりに関する情報提供の充実」(26.8%)、「健康教育や健康相談の充実」(13.6%)、「保健センターの施設、整備の充実」(7.4%)が続いている。

### (4) スポーツへの普段の取り組み

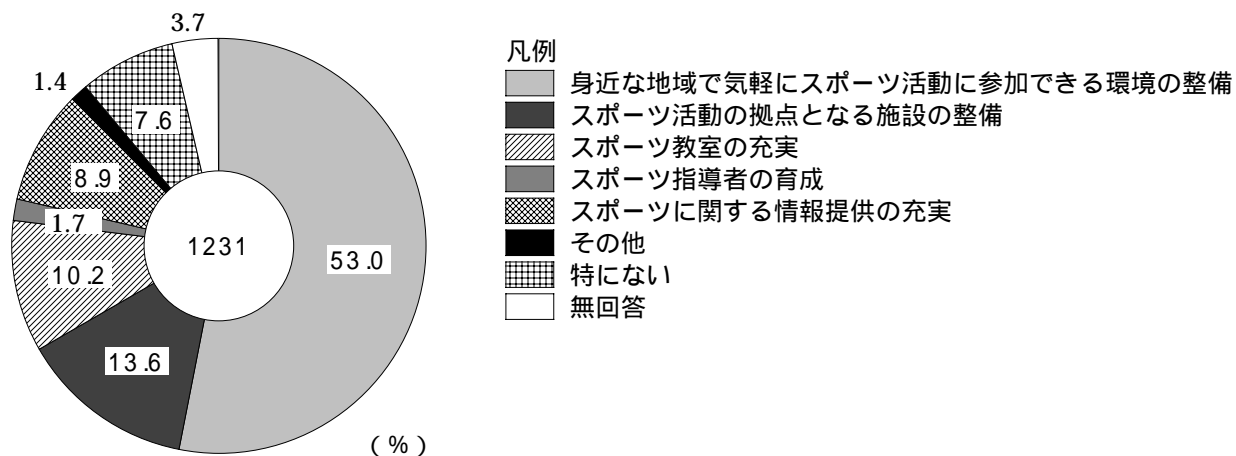
問 30. あなたは、普段スポーツをどの程度されていますか。次のうちからあてはまるもの **1つだけ** 選んで、をつけてください。



・「全くしない」が 38%で最も多い。スポーツをする人の内訳は、「年に数回程度」が 23.2%、「週に1～3回程度」が 17.1%、「月に1～3回程度」が 14.9%、「ほとんど毎日」が 4.5%となっている。全体の約3分の1強が『月に1回以上』、約5分の1強が『週に1回以上』スポーツをしていると答えている。

( 5 ) スポーツ活動推進のための施策

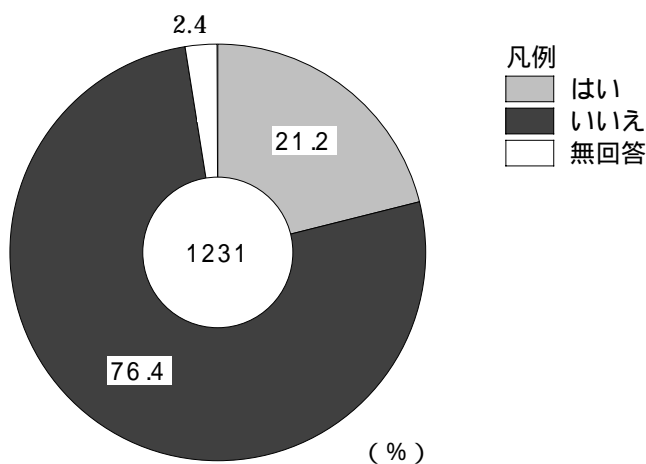
問 31 . 市民のスポーツ活動を推進するために何に力を入れるべきだと思いますか。次のうちからあてはまるもの 1つだけ選んで、 をつけてください。



・「身近な地域で気軽にスポーツ活動に参加できる環境の整備」が 53.0%で最も多く、過半数を占めている。以下「スポーツ活動の拠点となる施設の整備」( 13.6% )、「スポーツ教室の充実」( 10.2% )、「スポーツに関する情報提供の充実」( 8.9% )などが続いている。

( 6 ) 「総合型地域スポーツクラブ」の認知度

問 32 . あなたは、現在 6 中学校区で設立を進めている「総合型地域スポーツクラブ」を知っていますか。あてはまるもの どちらかに、 をつけてください。

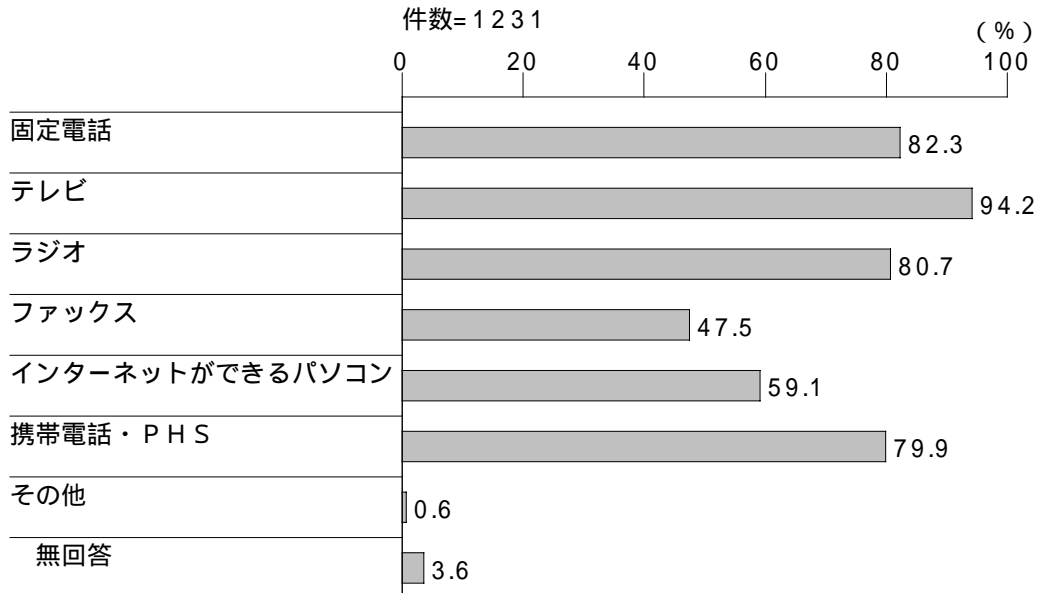


・「はい」が 21.2%、「いいえ」が 76.4%となっており、「総合型地域スポーツクラブ」の認知度は現在 2 割程度となっている。

## 10 情報化について

### (1) 情報機器の保有状況

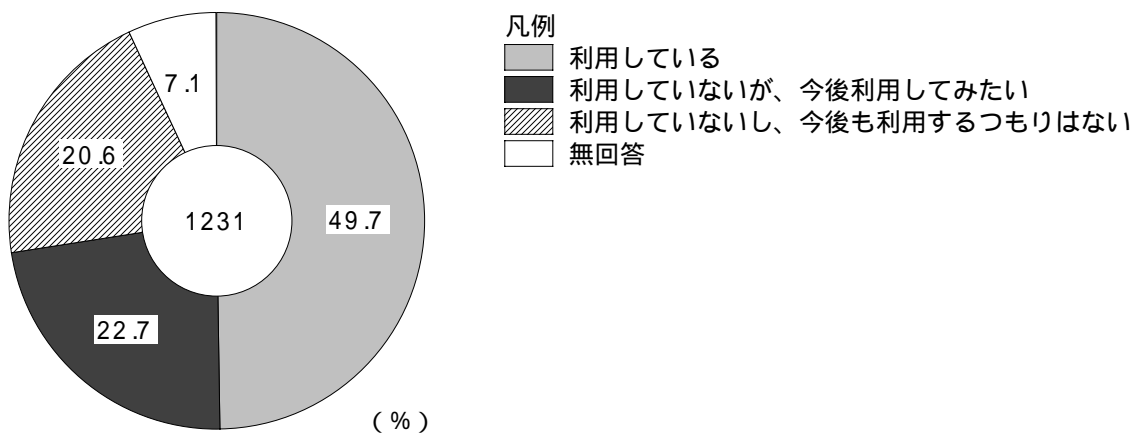
問 33. あなたのご家庭では、どのような情報機器をお持ちですか。次のうちからあてはまるものすべてに、をつけてください。



・「テレビ」が94.2%で最も多く、以下「固定電話」(82.3%)、「ラジオ」(80.7%)、「携帯電話・PHS」(79.9%)、「インターネットができるパソコン」(59.1%)、「ファックス」(47.5%)の順で続いている。

### (2) インターネットの利用状況

問 34. あなたは、現在インターネットを利用していますか。次のうちからあてはまるもの1つだけ選んで、をつけてください。

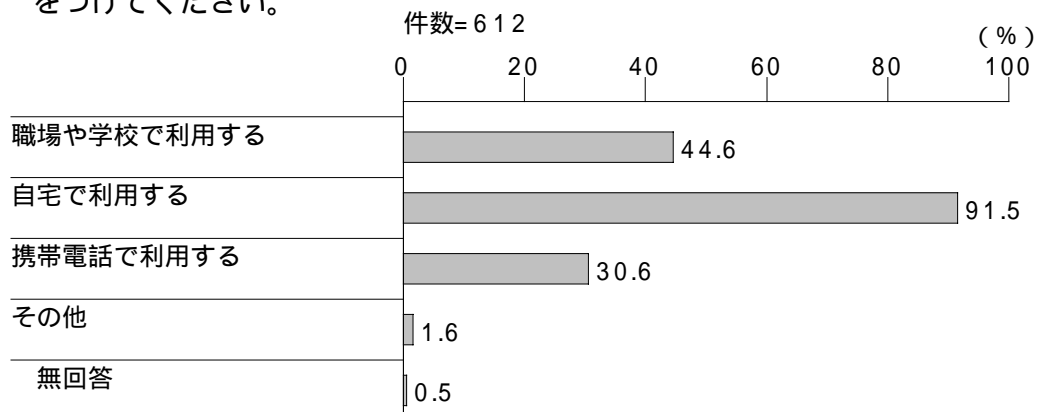


・「利用している」(49.7%)がほぼ半分を占めており、「利用していないが、今後利用してみたい」(22.7%)と合わせて7割以上が利用意向を持っている。

### (3) インターネットの利用場所

【問 34 で「1. 利用している」と答えた方にお聞きします。】

問 35. どこでインターネットを利用しますか。次のうちからあてはまるものすべてに、をつけてください。

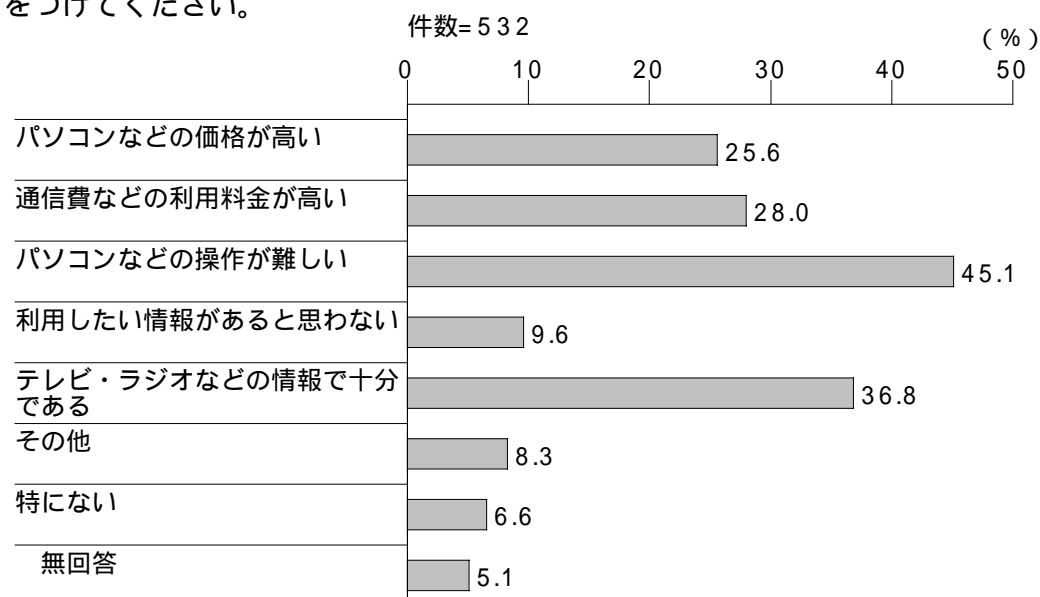


・「自宅で利用する」が 91.5%で最も多く、「職場や学校で利用する」が 44.6%、「携帯電話で利用する」が 30.6%となっている。

### (4) インターネットを利用していない理由

【問 34 で「2. 利用していないが、今後利用してみたい」、「3. 利用していないし、今後も利用するつもりはない」と答えた方にお聞きします。】

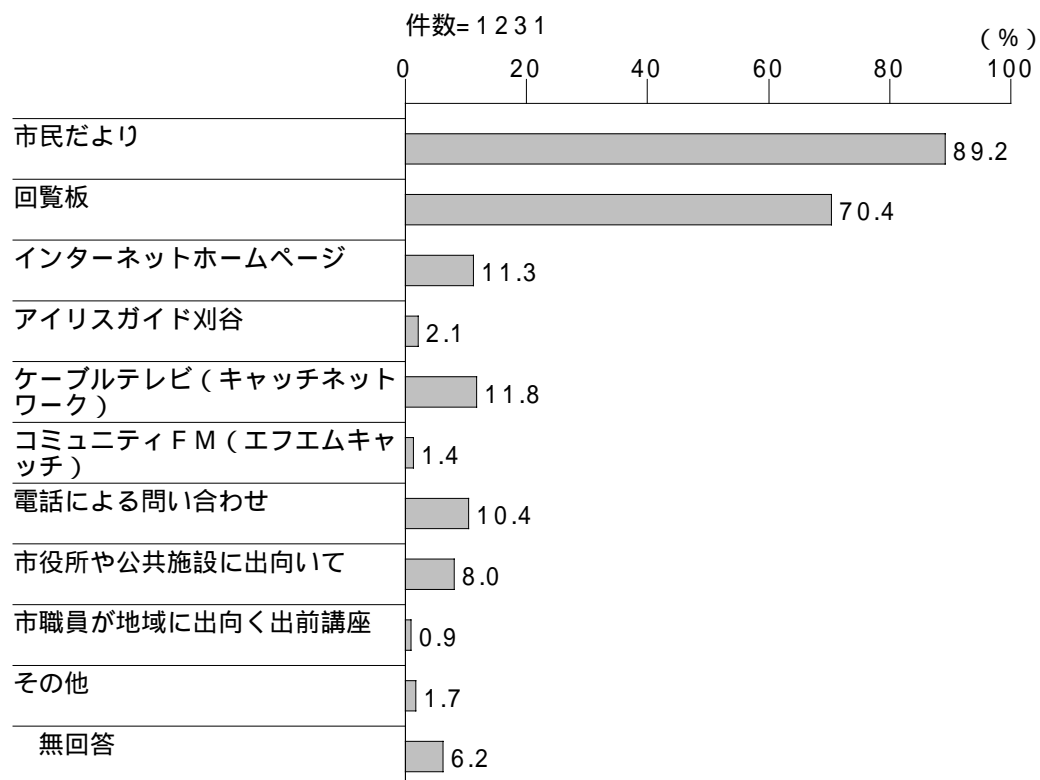
問 36. 現在利用していない理由は何ですか。次のうちからあてはまるものすべてに、をつけてください。



・「パソコンなどの操作が難しい」が 45.1%で最も多く、以下「テレビ・ラジオなどの情報で十分である」(36.8%)、「通信費などの利用料金が高い」(28.0%)、「パソコンなどの価格が高い」(25.6%)などが続いている。

(5) 市役所からの情報入手手段

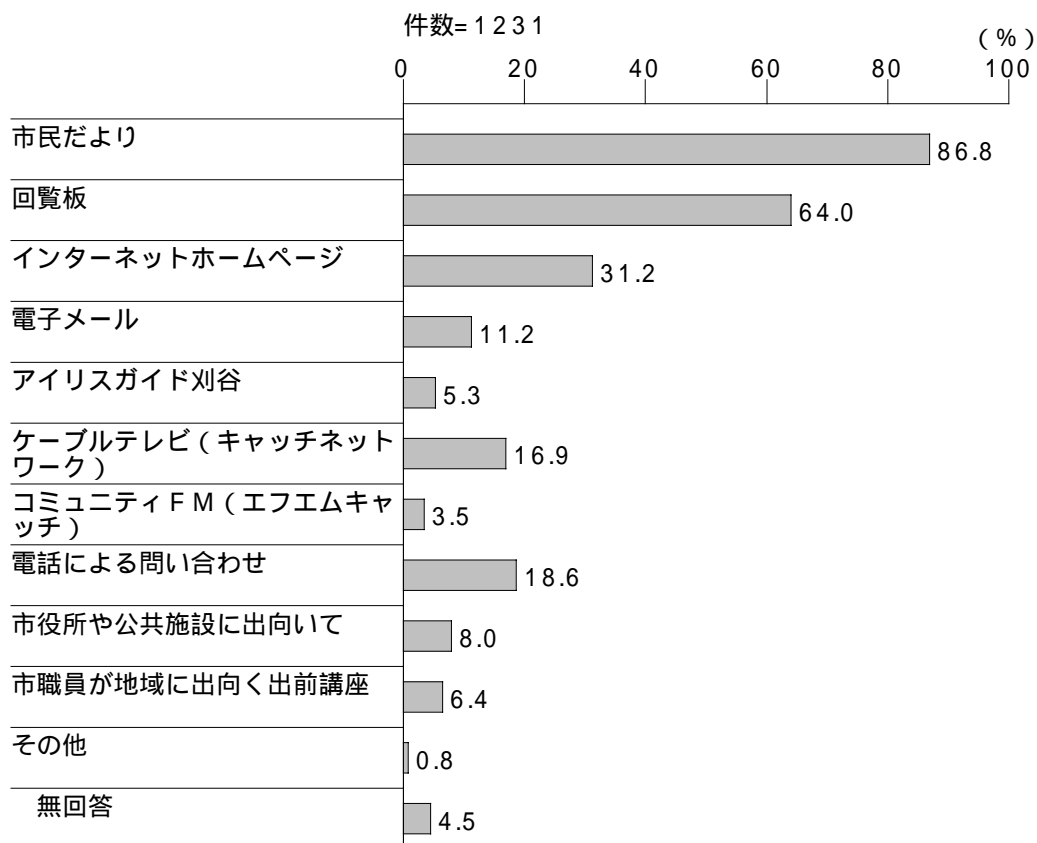
問 37. あなたは、市役所からの情報をどのように得ていますか。次のうちからあてはまるものすべてに、をつけてください。



・「市民だより」が 89.2%で最も多く、次いで「回覧板」が 70.4%となっている。その他はいずれも 2 割以下であり、「ケーブルテレビ」( 11.8%)、「インターネットホームページ」( 11.3%)、「電話による問い合わせ」( 10.4%)、「市役所や公共施設に出向いて」( 8.0%) などが続いている。

( 6 ) 今後希望する市役所からの情報入手手段

問 38 . あなたは、今後、市役所からの情報をどのような方法で得たいと思われませんか。  
次のうちからあてはまるものすべてに、をつけてください。



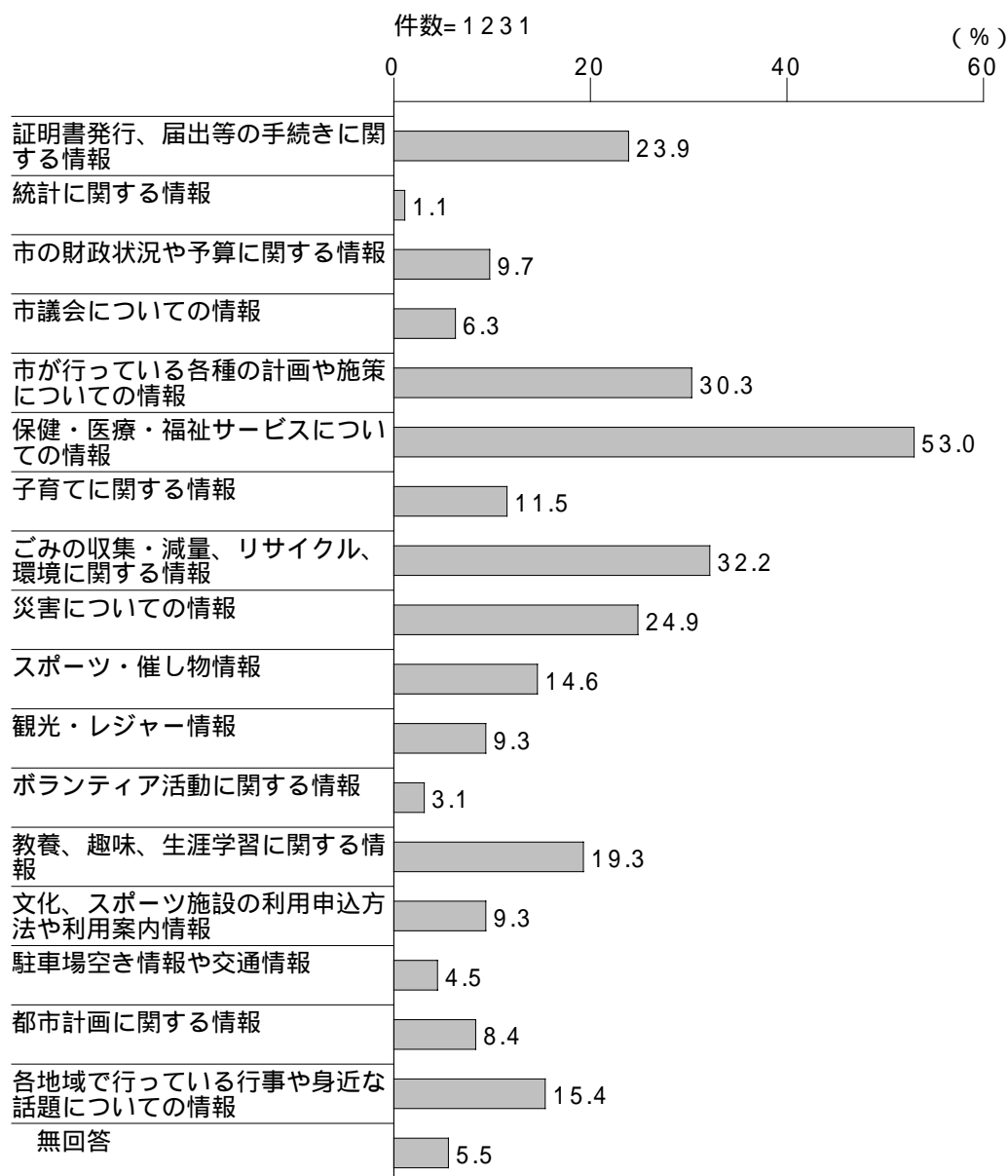
・「市民だより」が 86.8%で最も多く、以下「回覧板」( 64.0% )、「インターネットホームページ」( 31.2% )、「電話による問い合わせ」( 18.6% )、「ケーブルテレビ」( 16.9% )、「電子メール」( 11.2% )などが続いている。

・問 37 の結果と比較すると、「インターネットホームページ」や「電話による問い合わせ」の需要が多くなっている。



(7) 市役所から欲しい情報

問 39. あなたは、市役所からどのような情報がほしいと思われますか。次のうちから必要性が高いと思うもの3つ選んで、をつけてください。

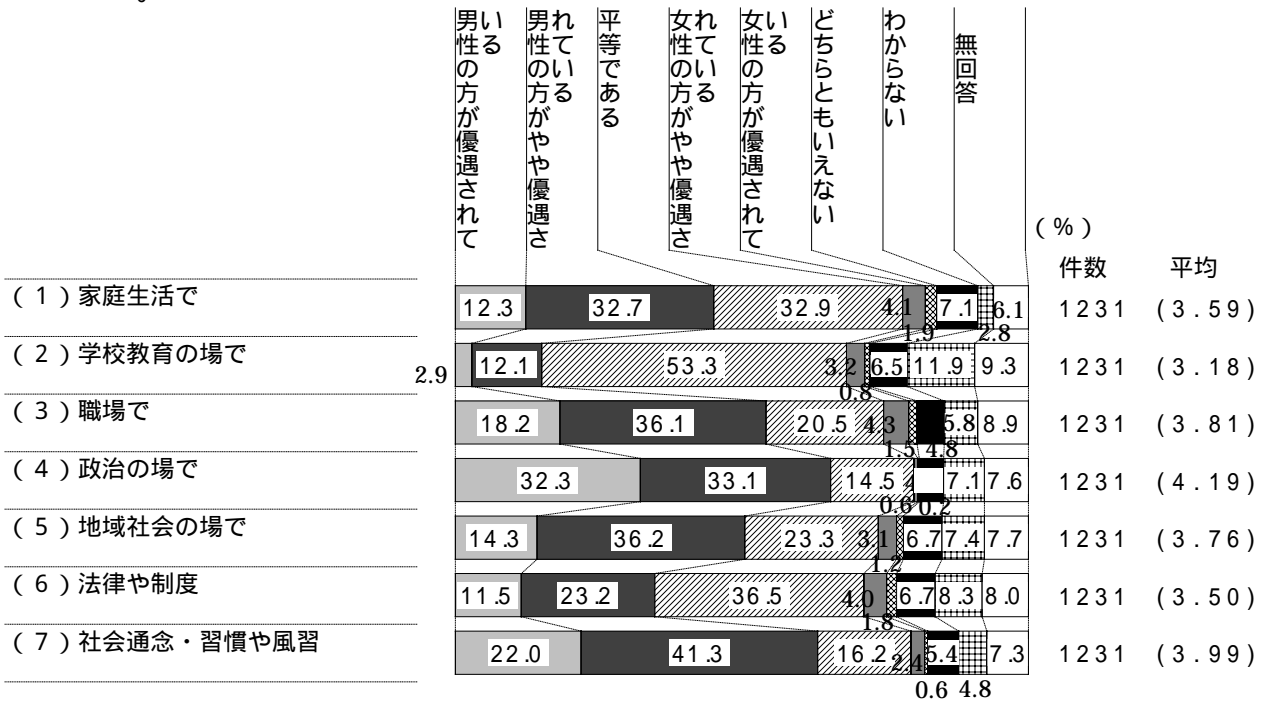


・「保健・医療・福祉サービスについての情報」が 53.0%で最も多く、以下、「ごみの収集・減量、リサイクル、環境に関する情報」(32.2%)、「市が行っている各種の計画や施策についての情報」(30.3%)、「災害についての情報」(24.9%)、「証明書発行、届出等の手続きに関する情報」(23.9%)、「教養、趣味、生涯学習に関する情報」(19.3%)などが続いている。

# 11 男女平等の意識について

## (1) 平等と感じる度合い

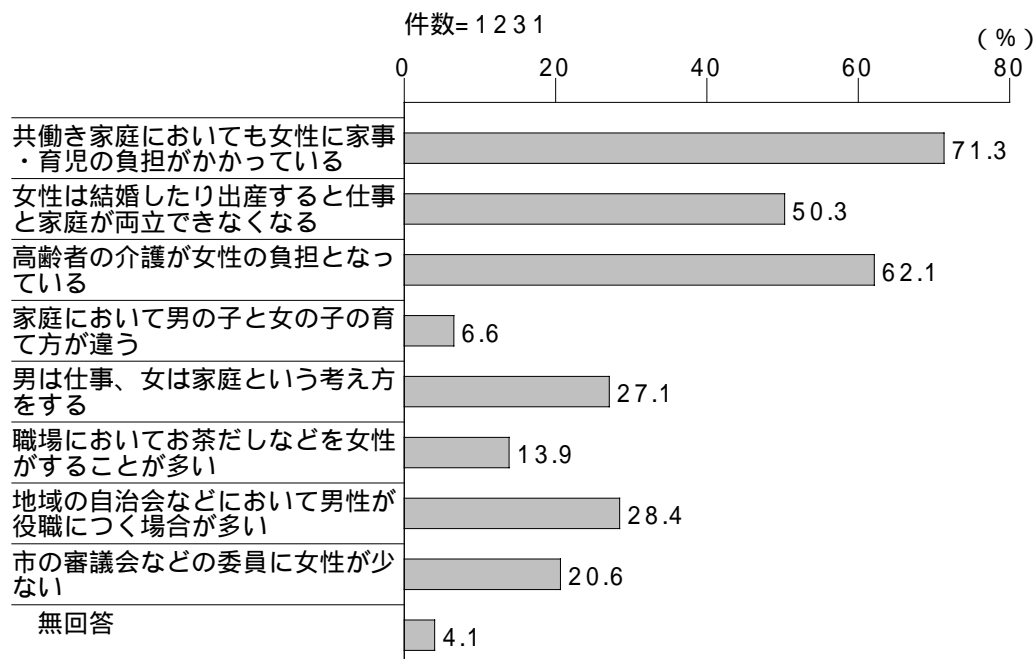
問 40.(1)～(7)のような分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたのお気持ちに最も近いものをそれぞれ1つずつ選んで、をつけてください。



・「男性の方が優遇されている」を5点、「男性の方がやや優遇されている」を4点、「平等である」を3点、「女性の方がやや優遇されている」を2点、「女性の方が優遇されている」を1点とし、「どちらともいえない」「わからない」「無回答」を除いて平均ポイントを算出したところ、「政治の場で」が最も高く、男性の優遇度が高いことを示している。以下「社会通念・習慣や風習」、「職場で」、「地域社会の場で」の順で男性の優遇度が高いと考えられている。最も平等に近いと考えられているのは「学校教育の場で」で、「平等である」と考える人が過半数に達している。

(2) 男女が助け合っていくための課題

問 41. あなたは、男女が共に助け合って社会をつくっていくためにどんなことが問題だと感じますか。次のうちからあてはまるもの3つ選んで、をつけてください。



・「共働き家庭においても女性に家事・育児の負担がかかっている」が 71.3%で最も多く、以下「高齢者の介護が女性の負担となっている」(62.1%)、「女性は結婚したり出産すると仕事と家庭が両立できなくなる」(50.3%)、「地域の自治会などにおいて男性が役職につく場合が多い」などが続いている。